

V 水質汚濁の状況

1 公共用水域の水質汚濁の概要

(1) 公共用水域の監視

表V-1のとおり、県、国土交通省及び政令市（静岡市、浜松市、沼津市、富士市）が、水質汚濁防止法第16条に規定する公共用水域の水質測定計画に基づき、河川117点、湖沼5地点、海域58地点の計180地点において監視した。

表V-1 平成24年度水質測定計画地点総括表

番号	水 域 名	測 定 地 点 数	環 境 基 準 点	補 助 地 点	その他	調査担当機関
1	伊豆水域（河川、湖沼）	11	6	3	2	静岡県
2	伊豆沿岸水域（海域）	11	11	—	—	静岡県、沼津市
3	鮎沢川水域（河川）	2	2	—	—	静岡県
4	狩野川水域（河川）	13	10	2	1	国土交通省、静岡県
5	田子の浦水域（河川）	13	4	2	7	静岡県、沼津市、富士市
6	富士川水域（河川、湖沼）	5	3	1	1	国土交通省、静岡県
7	奥駿河湾水域（河川）	10	4	1	5	静岡市、沼津市
8	奥駿河湾水域（海域）	18	18	—	—	静岡県、静岡市、沼津市、富士市
9	西駿河湾水域（海域）	11	11	—	—	静岡県、静岡市
10	静岡水域（河川）	6	5	—	1	国土交通省、静岡市
11	志太水域（河川）	8	6	1	1	静岡県
12	大井川水域（河川）	5	3	—	2	国土交通省、静岡県
13	榛南小笠水域（河川）	13	7	2	4	国土交通省、静岡県
14	太田川水域（河川）	10	7	2	1	静岡県
15	天竜川水域（河川、湖沼）	8	3	1	4	国土交通省、浜松市
16	馬込川水域（河川）	3	2	—	1	浜松市
17	浜名湖水域 （河川、湖沼、海域）	26	12	6	8	静岡県、浜松市
18	梅田川水域（河川）	1	—	—	1	静岡県
19	遠州灘水域（海域）	6	6	—	—	静岡県、浜松市
合計	河 川	117	64	16	37	
	湖 沼	5	2	1	2	
	海 域	58	54	4	0	
	計	180	120	21	39	

(注) 1 環境基準点とは、水域における利水目的等を勘案して、その水域の水質汚濁状況が把握できる地点のこと。

2 補助地点とは、環境基準点を補完するため、比較的総延長の長い河川、水域面積の大きい湖沼、海域について測定する地点のこと。

3 その他地点とは、次の地点のこと。

- ・今後、類型指定を行う必要があると考えられる水域について、基礎資料を得るために測定する地点。
- ・水質汚濁が進行するおそれのある水域について測定する地点。

各測定地点における測定項目は、人の健康の保護に関する環境基準に定める項目（以下「健康項目」という。）及び生活環境の保全に関する環境基準に定める項目（以下「生活環境項目」という。）等から水域の特色に応じて選定。

(2) 環境基準

水質汚濁に係る環境基準には、表V-2に示す人の健康の保護に関する環境基準及び表V-3に示す生活環境の保全に関する環境基準の2つがある。

人の健康の保護に関する環境基準は、全ての公共用水域において同一の基準が適用される。生活環境の保全に関する環境基準は、河川、湖沼、海域ごとに、利水目的に応じた類型を指定することにより適用される基準であり、本県では、河川については42河川に、湖沼については2湖沼に、海域については沿岸の全域に定めている。

また、佐久間ダム貯水池（図V-1-(1)）については全磷、浜名湖（図V-1-(2)）には全窒素及び全磷に係る基準を定めている。

水生生物に係る環境基準は、平成24年度の時点で10河川と1湖沼に全亜鉛の基準を定めている。

表V-2 人の健康の保護に関する環境基準

項 目	基 準 値	項 目	基 準 値
カドミウム	0.003 mg/L以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L以下
全シアン	検出されないこと。	トリクロロエチレン	0.03 mg/L以下
鉛	0.01 mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L以下
六価クロム	0.05 mg/L以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L以下
砒素	0.01 mg/L以下	チウラム	0.006 mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下	シマジン	0.003 mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。	チオベンカルブ	0.02 mg/L以下
P C B	検出されないこと。	ベンゼン	0.01 mg/L以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L以下	セレン	0.01 mg/L以下
四塩化炭素	0.002 mg/L以下	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10 mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L以下	ふっ素	0.8 mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ほう素	1 mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	1,4-ジオキサン	0.05 mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L以下		

備考

- 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
- 2 「検出されないこと」とは、定められた測定方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。別表V-3において同じ。
- 3 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。
- 4 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格 43.2.1、43.2.3 又は 43.2.5 により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数 0.2259 を乗じたものと規格 43.1 により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数 0.3045 を乗じたものの和とする。

表V-3 生活環境の保全に関する環境基準

ア 河川

a

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	50MPN /100mL 以下
A	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	1,000MPN /100mL 以下
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25mg/L 以下	5mg/L 以上	5,000MPN /100mL 以下
C	水産3級 工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50mg/L 以下	5mg/L 以上	—
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100mg/L 以下	2mg/L 以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/L 以上	—

- (注) 1 基準値は、日間平均値とする。
 2 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 3 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 4 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の
 水産生物用
 水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
 5 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 工業用水3級：特殊な浄水操作を行うもの
 6 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

b

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全重鉛
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下

(注) 基準値は、年間平均値とする。

イ 湖沼（天然湖沼及び貯水量 1,000 万立方メートル以上であり、かつ水の滞留時間が 4 日間以上の人工湖）

a

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン 濃度 (pH)	化学的 酸素要求量 (COD)	浮遊 物質 量 (SS)	溶存 酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道 1 級 水産 1 級 自然環境保全及び A 以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	1 mg/L 以下	1 mg/L 以下	7.5mg/L 以上	50MPN /100mL 以下
A	水道 2、3 級 水産 2 級 水浴及び B 以下の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	3 mg/L 以下	5 mg/L 以下	7.5mg/L 以上	1,000MPN /100mL 以下
B	水産 3 級 工業用水 1 級 農業用水 及び C の欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	5 mg/L 以下	15mg/L 以下	5 mg/L 以上	—
C	工業用水 2 級 環境保全	6.0 以上 8.5 以下	8 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2 mg/L 以上	—

- (注) 1 基準値は、日間平均値とする。
 2 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 3 水道 1 級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道 2、3 級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作、又は、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 4 水産 1 級：ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産 2 級及び水産 3 級の水産生物用
 水産 2 級：サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産 3 級の水産生物用
 水産 3 級：コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用
 5 工業用水 1 級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 工業用水 2 級：薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの
 6 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度
 7 水産 1 級、2 級及び 3 級については、当分の間、浮遊物質の項目の基準値は適用しない。

b

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全磷
I	自然環境保全及びⅡ以下の欄に掲げるもの	0.1mg/L 以下	0.005mg/L 以下
Ⅱ	水道 1、2、3 級（特殊なものを除く。） 水産 1 種 水浴及びⅢ以下の欄に掲げるもの	0.2mg/L 以下	0.01mg/L 以下
Ⅲ	水道 3 級（特殊なもの）及び Ⅳ以下の欄に掲げるもの	0.4mg/L 以下	0.03mg/L 以下
Ⅳ	水産 2 種及びⅤの欄に掲げるもの	0.6mg/L 以下	0.05mg/L 以下
Ⅴ	水産 3 種 工業用水 農業用水 環境保全	1 mg/L 以下	0.1mg/L 以下

- (注) 1 基準値は、年間平均値とする。
 2 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 3 水道 1 級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道 2 級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 水道 3 級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの（「特殊なもの」とは、臭気物質の除去が可能な特殊な浄水操作を行うものをいう。）
 4 水産 1 種：サケ科魚類及びアユ等の水産生物用並びに水産 2 種及び水産 3 種の水産生物用
 水産 2 種：ワカサギ等の水産生物用及び水産 3 種の水産生物用
 水産 3 種：コイ、フナ等の水産生物用
 5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度
 6 農業用水については、全磷の項目の基準値は適用しない。

c

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全 亜 鉛
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下

(注) 基準値は、年間平均値とする。

ウ 海域

a

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン 濃度 (pH)	化学的酸素 要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	n-ヘキサン 抽出物質 (油分等)
A	水産1級 水浴、自然環境保全及び B以下の欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	2mg/L 以下	7.5mg/L 以上	1,000MPN /100mL 以下	検出されない こと。
B	水産2級 工業用水及びCの欄に 掲げるもの	7.8以上 8.3以下	3mg/L 以下	5mg/L 以上	—	検出されない こと。
C	環 境 保 全	7.0以上 8.3以下	8mg/L 以下	2mg/L 以上	—	—

(注) 1 基準値は、日間平均値とする。

2 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

3 水産1級：マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用

水産2級：ボラ、ノリ等の水産生物用

4 環 境 保 全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

5 水産1級のうち、生食用原料カキの養殖の利水点については、大腸菌群数 70MPN/100mL 以下とする。

b

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全磷
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.2mg/L 以下	0.02mg/L 以下
II	水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.3mg/L 以下	0.03mg/L 以下
III	水産2種及びIVの欄に掲げるもの (水産3種を除く。)	0.6mg/L 以下	0.05mg/L 以下
IV	水産3種 工業用水 生物生息環境保全	1mg/L 以下	0.09mg/L 以下

(注) 1 基準値は、年間平均値とする。

2 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

3 水産1種：底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ安定して漁獲される

水産2種：一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される

水産3種：汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される

4 生物生息環境保全：年間を通して底生生物が生息できる限度

c

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全 亜 鉛
生物A	水生生物の生息する水域	0.02mg/L 以下
生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.01mg/L 以下

(注) 基準値は、年間平均値とする。

本県では、主要な河川42・河川・2湖沼・2湖沼・前面海域に環境基準(BOD、COD)の類型指定を行っている。

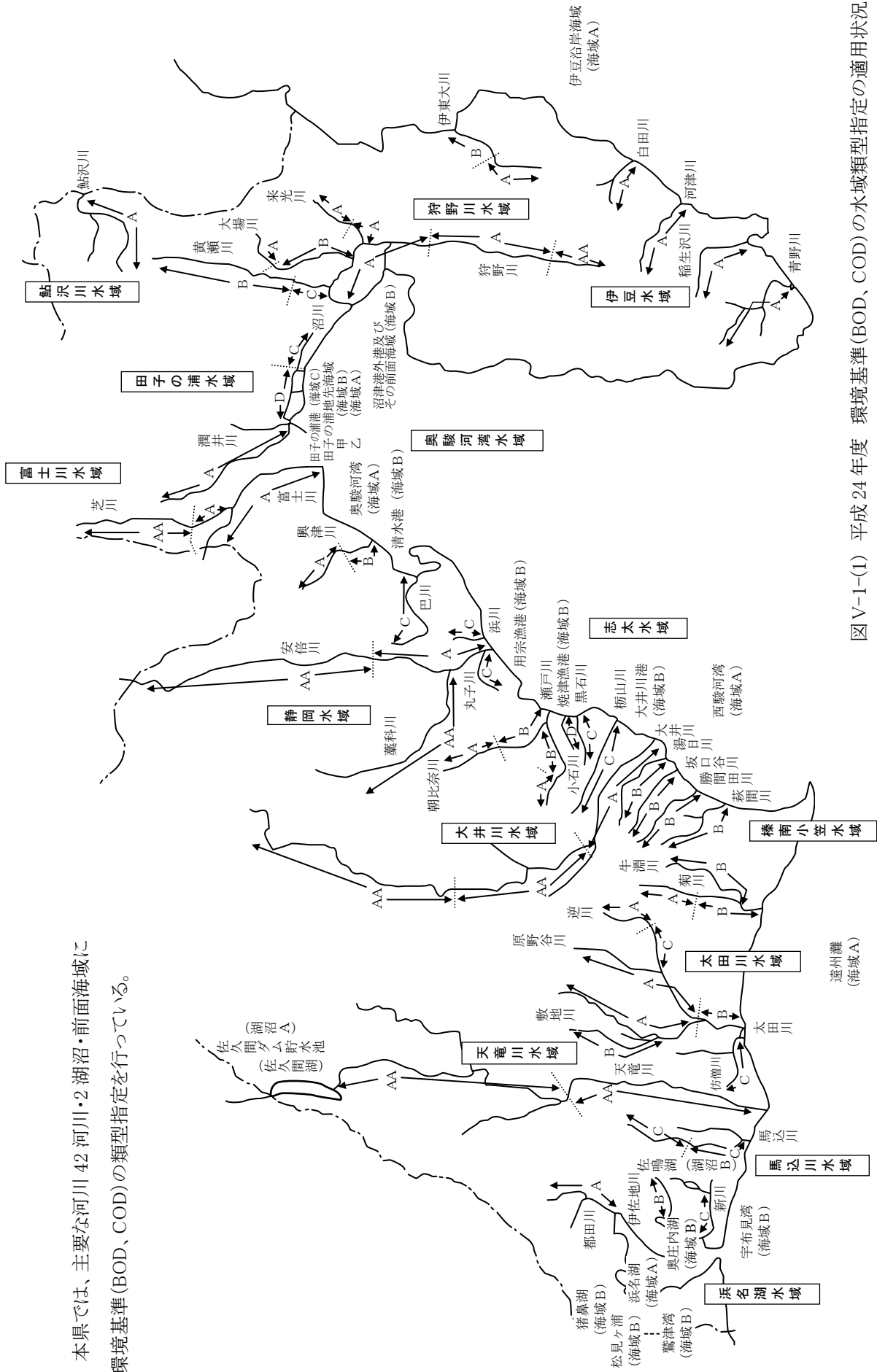
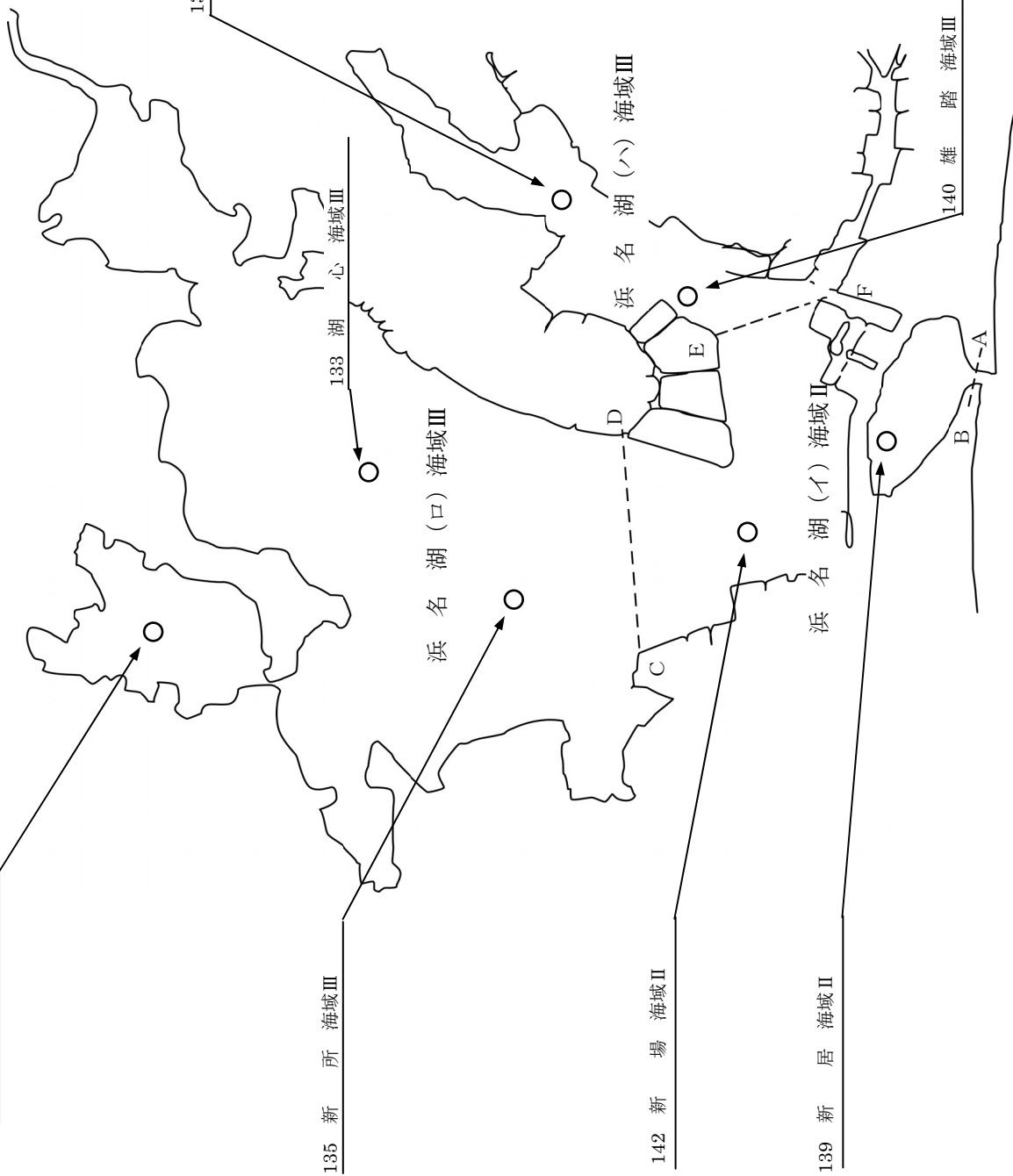


図 V-1-1) 平成 24 年度 環境基準 (BOD、COD) の水域類型指定の適用状況 (浜名湖の全窒素、全燐に係る環境基準を除く)

138 猪鼻湖 海域Ⅲ

浜名湖水域(海域)



浜名湖 (イ)

A地点(今切口の東導流堤の基部…浜松市西区舞阪町舞阪官有無番地)とB地点(今切口の西導流堤の基部…湖西市新居町新居官有無番地)を結んだ直線、C地点(湖西市鷺津字大畑ケ2499番地の9)とD地点(浜松市西区村櫛町4226番地の51)を結んだ直線、E地点(浜松市西区村櫛町5534番地)とF地点(浜松市西区舞阪町舞阪字十王2697番地の1)を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

浜名湖 (ロ)

C地点とD地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

浜名湖 (ハ)

E地点とF地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

海域Ⅱ～Ⅲは全窒素、全隣における環境基準類型を示す。

図V-1-1-(2) 平成24年度 環境基準(全窒素・全隣)の水域類型指定の適用状況(浜名湖)

(3) 環境基準の達成状況

ア 健康項目

健康項目については、河川、湖沼及び海域の 135 地点（河川 103 地点、湖沼 5 地点、海域 27 地点）で測定した結果、全ての測定地点の全ての項目で環境基準を達成した。

表V-4 健康項目に関する環境基準達成状況

【河川】

項 目	達成測定地点数／測定地点数	達成率 (%)	未達成測定地点
カドミウム	78 / 78	100	—
全シアン	72 / 72	100	—
鉛	83 / 83	100	—
六価クロム	72 / 72	100	—
砒素	78 / 78	100	—
総水銀	78 / 78	100	—
アルキル水銀	—	—	—
P C B	22 / 22	100	—
ジクロロメタン	99 / 99	100	—
四塩化炭素	99 / 99	100	—
1,2-ジクロロエタン	99 / 99	100	—
1,1-ジクロロエチレン	99 / 99	100	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	99 / 99	100	—
1,1,1-トリクロロエタン	100 / 100	100	—
1,1,2-トリクロロエタン	99 / 99	100	—
トリクロロエチレン	100 / 100	100	—
テトラクロロエチレン	99 / 99	100	—
1,3-ジクロロプロペン	99 / 99	100	—
チウラム	98 / 98	100	—
シマジン	98 / 98	100	—
チオベンカルブ	98 / 98	100	—
ベンゼン	99 / 99	100	—
セレン	99 / 99	100	—
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	100 / 100	100	—
ほう素	100 / 100	100	—
ほう素	100 / 100	100	—
1,4-ジオキサン	90 / 90	100	—

(注) 1 環境基準の達成は、年間平均値で評価する。ただし、全シアンについては、最高値で評価する。

2 ほう素については 100 測定地点中、9 地点（稻生沢川新下田橋、塚田川せせらぎ橋、瀬戸川当目大橋、小石川八雲橋、黒石川新川橋、萩間川湊橋、勝間田川港橋、新川志都呂橋、釣橋川三代橋）で環境基準を超過したが、この地点は海水の影響を強く受けて環境基準を超過しているため、評価の対象から除外した。

【湖沼】

項 目	達成測定地点数／測定地点数	達成率 (%)	未達成測定地点
カドミウム	3 / 3	100	—
全シアン	3 / 3	100	—
鉛	3 / 3	100	—
六価クロム	3 / 3	100	—
砒素	3 / 3	100	—
総水銀	3 / 3	100	—
アルキル水銀	—	—	—
P C B	2 / 2	100	—
ジクロロメタン	3 / 3	100	—
四塩化炭素	3 / 3	100	—
1,2-ジクロロエタン	3 / 3	100	—
1,1-ジクロロエチレン	3 / 3	100	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	3 / 3	100	—
1,1,1-トリクロロエタン	3 / 3	100	—
1,1,2-トリクロロエタン	3 / 3	100	—
トリクロロエチレン	3 / 3	100	—
テトラクロロエチレン	3 / 3	100	—
1,3-ジクロロプロペン	3 / 3	100	—
チウラム	3 / 3	100	—
シマジン	3 / 3	100	—
チオベンカルブ	3 / 3	100	—
ベンゼン	3 / 3	100	—
セレン	3 / 3	100	—
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	5 / 5	100	—
ふっ素	3 / 3	100	—
ほう素	3 / 3	100	—
1,4-ジオキサン	2 / 2	100	—

(注) 環境基準の達成は、年間平均値で評価する。ただし、全シアンについては、最高値で評価する。

【海域】

項 目	達成測定地点数／測定地点数	達成率 (%)	未達成測定地点
カドミウム	20 / 20	100	—
全シアン	7 / 7	100	—
鉛	20 / 20	100	—
六価クロム	20 / 20	100	—
砒素	18 / 18	100	—
総水銀	20 / 20	100	—
アルキル水銀	—	—	—
P C B	2 / 2	100	—
ジクロロメタン	20 / 20	100	—
四塩化炭素	20 / 20	100	—
1,2-ジクロロエタン	20 / 20	100	—
1,1-ジクロロエチレン	20 / 20	100	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	20 / 20	100	—
1,1,1-トリクロロエタン	20 / 20	100	—

項 目	達成測定地点数／測定地点数	達成率 (%)	未達成測定地点
1, 1, 2-トリクロロエタン	20 / 20	100	—
トリクロロエチレン	20 / 20	100	—
テトラクロロエチレン	20 / 20	100	—
1, 3-ジクロロプロペン	20 / 20	100	—
チ ウ ラ ム	20 / 20	100	—
シ マ ジ ン	20 / 20	100	—
チ オ ベ ン カ ル ブ	20 / 20	100	—
ベ ン ゼ ン	20 / 20	100	—
セ レ ン	20 / 20	100	—
硝 酸 性 窒 素 及 び 亜 硝 酸 性 窒 素	27 / 27	100	—
ふ っ 素	—	—	—
ほ う 素	—	—	—
1, 4-ジオキサン	20 / 20	100	—

(注) 1 海域における環境基準の達成は、全層の年間平均値（浜名湖は上層と中層の平均値）で評価する。ただし、全シアンについては、最高値で評価する。

2 「ふっ素」及び「ほう素」は自然状態において海水に相当程度含まれていることから海域については、環境基準は適用されない。

イ 生活環境項目

生活環境の保全に関する項目のBOD、CODの環境基準の達成については、河川は64地点中、1地点（芝川横手沢橋）で達成せず、達成率は98%となった（平成23年度98%）。

湖沼は、2地点（佐久間ダム貯水池ダムサイト、佐鳴湖出口拓希橋）のうち佐鳴湖出口拓希橋で達成しなかった（平成23年度は50%）。

海域は、54地点中、7地点（焼津漁港沖、勝間田川沖、御前崎港中央、焼津漁港焼津地区港中央、浜名湖湖心、浜名湖新所、浜名湖猪鼻湖）で達成せず、達成率は87%となった（平成23年度は77%）。

浜名湖における全窒素及び全燐の環境基準の達成については、全窒素で1水域で達成せず、達成率は全窒素で66%、全燐100%となった（平成23年度は全窒素、全燐とも100%）（表V-5）。また、佐久間ダム貯水池では全燐について23年度と同様達成した。

水生生物の保全に係る水質環境基準の全亜鉛は、類型の当てはめられている10河川（延べ17類型）、1湖沼（1類型）全てで、環境基準を達成した。

(注) 環境基準の達成状況の評価について

環境基準類型指定水域の環境基準の達成は環境省が示している基準に則り判断する。BOD（河川）又はCOD（湖沼、海域）については75%値により、全亜鉛については年間平均値により行い、いずれも水域内の環境基準点において、その値が適合しているとき達成とした。（75%値：年間n個の日間平均値を小さいものから並べたとき、 $0.75 \times n$ 番目の数値）

また、佐久間ダム貯水池の全燐と浜名湖の全窒素及び全燐に係る環境基準については、表層（上層）の年間平均値を水域内の全ての環境基準点について平均した値が適合しているとき、達成とした。

表V-5 生活環境の保全に関する環境基準達成状況

河 川 (BOD)

(測定地点数は環境基準点の数)

水域類型	24年度			23年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
AA 1 mg/L 以下	7 / 8	狩野川 瑞祥橋、 安倍川 曙橋、 大井川 下泉橋 等	芝川横手沢橋	7 / 8
A 2 mg/L 以下	27 / 27	富士川 富士川橋、 安倍川 安倍川橋、 太田川 二瀬橋 等	—	27 / 27
B 3 mg/L 以下	14 / 14	黄瀬川 あゆつぼの滝、 興津川 浦安橋、 菊川 国安橋 等	—	14 / 14
C 5 mg/L 以下	13 / 13	黄瀬川 黄瀬川橋、 沼川 井出六橋、 馬込川 茄子橋 等	—	13 / 13
D 8 mg/L 以下	2 / 2	沼川 沼川新橋、 小石川 八雲橋	—	2 / 2
E 10 mg/L 以下	—	—	—	—
合 計	63 / 64	63	1	63 / 64
達成率	98%	—	—	98%

湖 沼 (COD)

(測定地点数は環境基準点の数)

水域類型	24年度			23年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
A 3 mg/L 以下	1 / 1	佐久間ダム貯水池 ダムサイト	—	1 / 1
B 5 mg/L 以下	0 / 1	—	佐鳴湖出口拓希橋	0 / 1
合 計	1 / 2	1	1	1 / 2
達成率	50%	—	—	50%

海 域 (COD)

(測定地点数は環境基準点の数)

水域類型	24 年度			23 年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
A 2 mg/L 以下	32 / 37	伊豆沿岸水域(11) 奥駿河湾水域(10) 西駿河湾水域(4) 浜名湖水域 (1) 遠州灘水域 (6)	焼津漁港沖 勝間田川沖 御前崎港中央 浜名湖湖心 浜名湖新所	29 / 37
B 3 mg/L 以下	12 / 14	奥駿河湾水域(5) 西駿河湾水域(3) 浜名湖水域 (4)	焼津漁港焼津地区港中央 猪鼻湖	10 / 14
C 8 mg/L 以下	3 / 3	奥駿河湾水域(3)	—	3 / 3
合 計	47 / 54	47	7	42 / 54
達成率	87%	—	—	77%

(注) 浜名湖では表層 (0.5m) と中層又は下層 (2m) 2 測点の平均値の 75% 値で評価する。

湖 沼 (全磷)

(測定地点数は環境基準点の数)

水域類型	24 年度			23 年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
IV	1 / 1	佐久間ダム貯水池 ダムサイト	—	1 / 1
達成率	100%	—	—	100%

(注) 湖沼における全窒素及び全磷の環境基準の達成状況は、環境基準点において表層 (上層) の年間平均値が類型の環境基準に適合している場合に環境基準を達成しているものとする。

海 域 (全窒素)

水域類型	24 年度			23 年度
	達成測定水域数 ／測定水域数	達成測定水域	未達成測定水域	達成測定水域数 ／測定水域数
II	1 / 1	浜名湖(イ)	—	1 / 1
III	1 / 2	浜名湖(ロ)	浜名湖(ハ)	2 / 2
合計	2 / 3	2	1	3 / 3
達成率	66%	—	—	100%

海 域 (全磷)

水域類型	24 年度			23 年度
	達成測定水域数 ／測定水域数	達成測定水域	未達成測定水域	達成測定水域数 ／測定水域数
II	1 / 1	浜名湖(イ)	—	1 / 1
III	2 / 2	浜名湖(ロ)、浜名湖(ハ)	—	2 / 2
合計	3 / 3	3	0	3 / 3
達成率	100%	—	—	100%

(注) 1 浜名湖 (イ) とは、A 地点 (今切口の東導流堤の基部…浜松市西区舞阪町舞阪官有無番地) と B 地点 (今切口の西導流堤の基部…湖西市新居町新居官有無番地) を結んだ直線、C 地点 (湖西市鷺津字大畑ヶ 2499 番地の 9) と D 地点 (浜松市西区村櫛町 4226 番地の 51) を結んだ直線、E 地点 (浜松市西区村櫛町 5534 番地) と F 地点 (浜松市西区舞阪町舞阪字十王 2697 番地の 1) を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域。

2 浜名湖 (ロ) とは、C 地点と D 地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域。

- 3 浜名湖（ハ）とは、E地点とF地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域。
- 4 海域における全窒素及び全燐の環境基準の達成状況は環境基準点において、表層（上層）の年間平均値が当てはめられた類型の環境基準に適合している場合に、環境基準を達成しているものと評価する。複数の環境基準点が存在する水域は各環境基準点の表層（上層）の年間平均値を平均した値で評価する。

河 川（全亜鉛）

水域類型	24 年度			23 年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
生物A	7 / 7	狩野川 瑞祥橋 天竜川 鹿島橋等	—	7 / 7
生物特A	—	—	—	—
生物B	10 / 10	黄瀬川 黄瀬川橋 富士川 富士川橋等	—	10 / 10
生物特B	—	—	—	—
合 計	17 / 17	17	0	17 / 17
達成率	100%	—	—	100%

湖 沼（全亜鉛）

水域類型	24 年度			23 年度
	達成測定地点数 ／測定地点数	達成測定地点	未達成 測定地点	達成測定地点数 ／測定地点数
生物A	1 / 1	佐久間ダム貯水池 ダムサイト	—	1 / 1
生物特A	—	—	—	—
生物B	—	—	—	—
生物特B	—	—	—	—
合計	1 / 1	1	0	1 / 1
達成率	100%	—	—	100%

(4) 水質の現況と推移

ア 水質の現況

(ア) 河川

AA～Dの環境基準類型を設定している河川（42 河川、64 地点）のうち、水浴に適し、アマゴやイワナ等の水産物の生息に適する水質のBOD 2mg/L以下（A類型相当：75%値で評価）の測定地点（環境基準点）は55 地点で、全体の85%を占めた。

アユ等の生息に適する水質であるBOD 3mg/L以下（B類型相当：75%値で評価）の測定地点は、62 地点で、全体の96%を占めた。（表V-6-(1)）

(イ) 湖沼

A、Bの環境基準類型を設定している湖沼（2 湖沼、2 地点）のうち、佐久間ダム貯水池ダムサイトではアユ等の水産物の生息に適する水質のCOD 3mg/L以下（A類型相当：75%値で評価）を示した。佐鳴湖出口拓希橋では依然としてCOD値が8.2mg/L（75%値）と高かった。（表V-6-(3)）

また、全燐の環境基準が定められている佐久間ダム貯水池では環境基準を達成した。（表V-6-(4)）

(ウ) 海域

A～Cの環境基準類型を設定している海域（54地点）のうち、水浴に適し、マダイ、ブリ等の水産物の生息に適する水質のCOD 2mg/L以下（A類型相当：75%値で評価）を示した測定地点は、38地点で全体の70%を占めた。また、前年よりCOD値が高くなった地点は15地点あり、全体の27%であった。（表V-7-(6)）

全窒素、全燐の環境基準が定められている浜名湖では、浜名湖(ハ)で全窒素の環境基準を達成せず、達成率は全窒素で66%となった。全燐では100%達成した。（表V-6-(7)）

表V-6-(1) 河川の測定地点（環境基準点）の水質汚濁状況（BOD：mg/L）

水域名	河川名	測定地点	環境基準類型	75%値	年度平均値	日間平均値の範囲
伊	伊東大川	八代田橋	河川A	1.1	1.0	<0.5～1.5
		渚橋	河川B	1.4	1.1	0.5～1.7
	河津川	館橋	河川A	1.1	0.9	<0.5～1.6
	稲生沢川	新下田橋	河川A	0.9	0.8	0.5～1.3
	青野川	加畑橋	河川A	1.0	0.9	0.5～1.3
豆	白田川	しらなみ橋	河川A	0.9	0.8	<0.5～1.3
鮎沢川	鮎沢川	県境	河川A	1.1	1.0	<0.5～1.9
		竹の下えん堤	河川A	1.4	1.2	<0.5～2.2
狩	狩野川	瑞祥橋	河川AA	0.8	0.8	<0.5～1.4
		大仁橋	河川A	<0.5	0.7	<0.5～3.0
		徳倉橋	河川A	0.8	0.7	<0.5～1.2
		黒瀬橋	河川A	0.8	0.8	<0.5～1.6
野	来光川	大土肥橋	河川A	1.1	1.0	<0.5～1.6
		蛇ヶ橋	河川A	0.8	0.8	<0.5～1.8
	大場川	出逢橋	河川A	1.1	0.9	0.5～1.6
		塚本橋	河川B	1.5	1.3	0.6～2.9
川	黄瀬川	あゆつぼの滝	河川B	1.5	1.3	0.6～2.5
		黄瀬川橋	河川C	1.5	1.4	0.9～2.7
田子の浦	潤井川	くすのき橋	河川A	1.1	1.1	<0.5～2.0
		前田橋	河川A	1.5	1.4	0.8～2.7
	沼川	井出六橋	河川C	2.5	2.1	1.0～3.1
		沼川新橋	河川D	3.3	3.4	1.9～10
富士川	富士川	富士川橋	河川A	0.8	0.7	<0.5～1.2
	芝川	横手沢橋	河川AA	1.2*	1.0	0.5～1.5
		芝富橋	河川A	0.8	0.8	<0.5～1.5
奥駿河湾 (河川)	巴川	区境巴川橋	河川C	1.6	1.3	0.6～1.7
		港橋	河川C	1.4	1.0	0.6～1.7
	興津川	八幡橋	河川A	0.6	0.6	<0.5～0.8
		浦安橋	河川B	0.9	0.7	<0.5～0.9
静岡 岡	安倍川	曙橋	河川AA	<0.5	0.6	<0.5～2.2
		安倍川橋	河川A	<0.5	<0.5	<0.5～<0.5
	藁科川	牧ヶ谷橋	河川AA	<0.5	0.5	<0.5～0.7
	浜川	浜川新橋	河川C	1.2	1.1	0.6～1.8
丸子川		ぺったん橋	河川C	1.7	1.4	0.6～2.3

水域名	河川名	測定地点	環境基準類型	75%値	年度平均値	日間平均値の範囲
志太	瀬戸川	勝草橋	河川A	0.8	0.7	<0.5~1.4
		当目大橋	河川B	1.5	1.3	0.5~2.4
	朝比奈川	新横内橋	河川A	1.1	0.9	<0.5~2.0
	小石川	八雲橋	河川D	2.6	2.3	1.2~2.9
	黒石川	黒石橋	河川C	2.5	2.3	1.0~5.2
大井川	大井川	下泉橋	河川A A	0.8	0.6	<0.5~1.3
		神座	河川A A	<0.5	0.6	<0.5~1.1
		富士見橋	河川A	0.7	0.6	<0.5~1.0
榛南小笠	菊川	高田橋	河川A	1.1	1.0	<0.5~1.7
		国安橋	河川B	1.0	1.0	0.6~1.7
	牛淵川	鹿島橋	河川B	1.5	1.6	0.7~3.8
	萩間川	湊橋	河川B	1.9	1.6	0.8~2.5
	湯日川	岩留橋	河川B	1.5	1.3	<0.5~2.4
	坂口谷川	寄子橋	河川B	2.1	1.9	<0.5~4.5
	勝間田川	港橋	河川B	1.8	1.6	0.9~3.0
太田川	太田川	二瀬(西)橋	河川A	0.9	1.1	0.6~2.0
		豊浜橋	河川B	1.4	1.3	0.8~2.3
	原野谷川	二瀬(東)橋	河川A	1.8	1.6	0.9~2.9
	仿僧川	東橋	河川C	2.4	1.8	1.1~2.7
	敷地川	向笠2号橋	河川B	1.9	1.7	0.7~3.2
	逆川	鞍下橋	河川A	1.2	1.1	0.6~1.9
天竜川	天竜川	鹿島橋	河川A A	<0.5	0.5	<0.5~0.7
		掛塚橋	河川A A	0.6	0.6	<0.5~1.0
馬込川	馬込川	茄子橋	河川C	1.3	1.1	<0.5~2.4
		白羽橋	河川C	1.3	1.2	0.6~1.8
浜名湖	都田川	落合橋	河川A	1.6	1.1	<0.5~2.2
	伊佐地川	中之谷橋	河川B	1.6	1.5	0.9~2.6
	新川	志都呂橋	河川C	4.9	4.1	2.0~6.0

* 基準超過値

表V-6-(2) 河川の環境基準点(測定地点)の水質状況(全亜鉛:mg/L)

水域名	名称	測定地点	環境基準類型	年度平均値	日間平均値の範囲
伊豆水域	河津川	館橋	河川生物A	0.002	<0.001~0.002
	稲生沢川	新下田橋	河川生物B	0.004	0.003~0.005
	青野川	加畑橋	河川生物B	0.009	0.008~0.009
狩野川水域	狩野川上流	瑞祥橋	河川生物A	0.003	<0.001~0.004
	狩野川中流	大仁橋	河川生物A	0.007	0.003~0.013
	狩野川下流	徳倉橋	河川生物B	0.009	0.003~0.016
		黒瀬橋		0.008	0.003~0.015
	黄瀬川上流	あゆつぼの滝	河川生物B	0.004	0.003~0.004
	黄瀬川下流	黄瀬川橋	河川生物B	0.012	0.003~0.020
	大場川上流	出逢橋	河川生物A	0.004	0.003~0.005
	大場川下流	塚本橋	河川生物B	0.013	0.009~0.023
	来光川上流	大土肥橋	河川生物A	0.003	0.002~0.003
来光川下流	蛇ヶ橋	河川生物B	0.009	0.003~0.017	
富士川水域	富士川下流	富士川橋	河川生物B	0.005	0.001~0.011

水域名	名称	測定地点	環境基準類型	年度平均値	日間平均値の範囲
奥駿河湾水域	興津川上流	八幡橋	河川生物A	0.007	0.002~0.012
	興津川下流	浦安橋	河川生物B	0.006	0.002~0.011
天竜川水域	天竜川上流	鹿島橋	河川生物A	0.003	0.001~0.008
	天竜川下流	掛塚橋	河川生物B	0.005	0.001~0.020

表V-6-(3) 湖沼の環境基準点(測定地点)の水質汚濁状況(COD:mg/L)

水域名	湖沼名	測定地点	環境基準類型	75%値	年度平均値	日間平均値の範囲
天竜川	佐久間ダム貯水池	ダムサイト	湖沼A	3.0	2.5	1.6~3.7
浜名湖	佐鳴湖	出口拓希橋	湖沼B	8.2	7.7	5.8~9.0

表V-6-(4) 湖沼の水質汚濁状況(全燐:mg/L)

湖沼名	環境基準類型	年度平均値	環境基準	測定地点
佐久間ダム貯水池	IV	0.029	全燐 0.05	佐久間ダム貯水池ダムサイト

表V-6-(5) 湖沼の環境基準点(測定地点)の水質状況(全亜鉛:mg/L)

水域名	名称	測定地点	環境基準類型	年度平均値	日間平均値の範囲
天竜川	佐久間ダム貯水池	ダムサイト	湖沼生物A	0.004	0.001~0.015

表V-6-(6) 海域の環境基準点(測定地点)の水質汚濁状況(COD:mg/L)

水域名	測定地点	環境基準類型	75%値	年度平均値	日間平均値の範囲
伊豆沿岸	神奈川県境沖	海域A	1.6	1.4	1.1~1.6
	熱海港港中央	海域A	1.6	1.6	1.4~1.7
	網代漁港港中央	海域A	1.7	1.5	1.1~1.8
	網代漁港沖	海域A	1.5	1.5	1.3~1.8
	伊東港港中央	海域A	1.6	1.4	0.8~1.6
	稲取漁港港中央	海域A	1.3	1.2	0.9~1.4
	下田港港中央	海域A	1.7	1.5	1.3~1.7
	妻良漁港港中央	海域A	1.5	1.5	1.3~1.6
	松崎港港中央	海域A	1.4	1.4	1.2~1.5
	土肥港港中央	海域A	1.7	1.5	1.0~1.7
	戸田漁港港中央	海域A	1.4	1.4	1.2~1.5
奥駿河湾	江尻埠頭沖	海域B	2.4	2.4	2.0~2.9
	富士川沖	海域A	0.7	0.8	<0.5~1.2
	由比川沖	海域A	0.8	0.7	<0.5~0.9
	三保・大瀬崎中間点(I.B.P)	海域A	0.8	0.7	<0.5~0.8
	C水域 田子の浦港(1)	海域C	2.6	2.3	1.5~3.3
	C水域 田子の浦港(2)	海域C	2.9	2.4	1.0~3.6
	C水域 田子の浦港(3)	海域C	1.2	1.0	<0.5~1.3
	B水域 田子の浦地先(1)	海域B	2.0	1.8	0.5~2.5
	B水域 田子の浦地先(2)	海域B	1.2	1.1	0.6~1.6
	B水域 田子の浦地先(3)	海域B	1.0	0.9	0.5~1.3
奥駿河湾	A水域 田子の浦地先(1)	海域A	1.0	1.0	0.5~1.6
	A水域 田子の浦地先(2)	海域A	1.2	1.1	0.5~1.6
	A水域 田子の浦地先(3)	海域A	1.3	1.0	0.6~1.6
	田子の浦沖	海域A	0.7	0.8	<0.5~1.3
	原町沖	海域A	0.7	0.7	<0.5~0.8
	志下沖	海域A	0.6	0.7	<0.5~1.1
奥駿河湾	狩野川河口沖	海域A	0.6	0.6	<0.5~0.6
	沼津新港前面海域	海域B	1.5	1.5	1.2~1.6

水域名	測定地点	環境基準類型	75%値	年度平均値	日間平均値の範囲
西駿河湾	久能沖	海域 A	1.5	1.6	1.0~2.6
	高松沖	海域 A	1.5	1.6	1.3~1.9
	石部沖	海域 A	1.4	1.3	0.6~1.9
	焼津漁港沖	海域 A	2.1*	2.4	2.0~3.6
	枋山川沖	海域 A	2.0	2.4	1.6~3.8
	用宗漁港港中央	海域 B	2.1	2.0	1.6~2.6
	焼津漁港焼津地区港中央	海域 B	4.5*	4.1	2.6~5.6
	焼津漁港小川地区港中央	海域 B	3.0	2.9	2.4~3.5
	大井川港港中央	海域 B	3.0	2.9	2.5~3.3
	勝間田川沖	海域 A	2.1*	2.4	2.0~3.6
御前崎港港中央	海域 A	2.8*	2.7	2.1~3.4	
浜名湖	浜名湖塩田	海域 B	1.9	1.8	1.4~3.0
	浜名湖湖心	海域 A	2.4*	2.1	1.4~2.9
	浜名湖鷺津	海域 B	2.9	2.4	1.5~3.7
	浜名湖新所	海域 A	2.5*	2.2	1.4~3.6
	浜名湖白洲	海域 B	2.6	2.1	1.5~2.8
	浜名湖猪鼻湖	海域 B	3.2*	2.7	1.4~4.5
	浜名湖新居	海域 A	1.9	1.7	1.2~2.4
浜名湖松見ヶ浦	海域 B	2.7	2.4	1.6~3.8	
遠州灘	新野川沖	海域 A	0.8	0.8	0.7~1.1
	菊川沖	海域 A	0.9	0.9	0.6~1.2
	太田川沖	海域 A	0.8	0.9	0.7~1.1
	馬込川沖	海域 A	1.1	1.0	0.7~1.2
	浜名湖沖	海域 A	1.0	0.9	0.6~1.1
愛知県境沖	海域 A	1.0	1.1	0.9~1.5	

* 基準超過値

表V-6-(7) 海域の水質汚濁状況(全窒素、全磷)

水域名	環境基準類型	年度平均値 mg/L		環境基準 mg/L	測定地点
		全窒素	全磷		
浜名湖(イ)	海域Ⅱ	0.22	0.022	全窒素 0.3 全磷 0.03	新居、新場
浜名湖(ロ)	海域Ⅲ	0.42	0.024	全窒素 0.6 全磷 0.05	湖心、新所、猪鼻湖
浜名湖(ハ)	海域Ⅲ	0.65*	0.041	全窒素 0.6 全磷 0.05	白州、雄踏

(注) 浜名湖における全窒素と全磷の年度平均値は各測定地点表層(上層)の年平均を平均した値

* 基準超過値

イ 水質の推移

(ア) 環境基準の達成率の推移

昭和 40 年代後半が水質汚濁のピークであった。昭和 60 年度から平成 14 年度までは 90%程度、平成 15 年度から平成 22 年度までは 95%前後で推移し、海域での達成率が低下したため平成 23 年度に一旦 90%以下に低下したものの、平成 24 年度に 92%に回復した。(表 V-7)

表 V-7 環境基準 (BOD又はCOD) 達成率の経年変化

年 度	河川 (%)	海域 (%)	湖沼 (%)	全体 (%)
昭和 46	42 (5/12)	—	—	42 (5/ 12)
昭和 48	53 (19/36)	80 (20/25)	0 (0/1)	64 (39/ 61)
昭和 50	73 (31/42)	98 (50/51)	0 (0/1)	86 (81/ 94)
昭和 52	78 (36/46)	94 (51/54)	0 (0/1)	86 (87/101)
昭和 54	78 (36/46)	92 (50/54)	0 (0/1)	85 (86/101)
昭和 56	73 (34/46)	96 (52/54)	0 (0/1)	85 (86/101)
昭和 58	76 (35/46)	94 (51/54)	0 (0/1)	85 (86/101)
昭和 60	82 (38/46)	98 (53/54)	0 (0/1)	90 (91/101)
昭和 62	80 (37/46)	92 (50/54)	0 (0/1)	86 (87/101)
平成 元	90 (45/50)	96 (52/54)	0 (0/1)	92 (97/105)
平成 3	89 (51/57)	88 (48/54)	0 (0/1)	88 (99/112)
平成 5	88 (53/60)	88 (48/54)	0 (0/1)	87 (101/115)
平成 7	77 (49/63)	100 (54/54)	0 (0/1)	87 (103/118)
平成 8	84 (53/63)	98 (53/54)	0 (0/1)	89 (106/118)
平成 9	87 (56/64)	87 (47/54)	0 (0/1)	86 (103/119)
平成 10	92 (59/64)	87 (47/54)	0 (0/1)	89 (106/119)
平成 11	92 (59/64)	92 (50/54)	0 (0/1)	91 (109/119)
平成 12	90 (58/64)	96 (52/54)	0 (0/1)	92 (110/119)
平成 13	89 (57/64)	100 (54/54)	0 (0/1)	93 (111/119)
平成 14	87 (56/64)	98 (53/54)	0 (0/1)	91 (109/119)
平成 15	93 (60/64)	100 (54/54)	0 (0/1)	95 (114/119)
平成 16	96 (63/65)	100 (54/54)	50 (1/2)	97 (118/121)
平成 17	95 (62/65)	100 (54/54)	0 (0/2)	95 (116/121)
平成 18	95 (61/64)	96 (52/54)	0 (0/2)	94 (113/120)
平成 19	96 (62/64)	98 (53/54)	50 (1/2)	96 (116/120)
平成 20	98 (63/64)	96 (52/54)	50 (1/2)	96 (116/120)
平成 21	98 (63/64)	94 (51/54)	50 (1/2)	95 (115/120)
平成 22	98 (63/64)	92 (50/54)	50 (1/2)	95 (114/120)
平成 23	98 (63/64)	77 (42/54)	50 (1/2)	88 (106/120)
平成 24	98 (63/64)	87 (47/54)	50 (1/2)	92 (111/120)

注) () 内は、達成地点/環境基準点を示す

(イ) 水質の経年変化

主な河川の環境基準点におけるBODの平成24年度の平均値は、表V-8に示したとおりほとんどの地点で昭和50年代に比べて数値が下がっており、全体的に水質の改善が見られる。特に巴川、馬込川、新川、小石川において水質の改善が進んでいる。

表V-8 主な河川の環境基準点におけるBODの年度平均値の経年変化

測定地点	調 査 年 度										
	S50	S60	H7	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
安倍川 曙橋(AA)	0.7	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	0.5	0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.6
大井川 下泉橋(AA)	0.9	0.6	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6
天竜川 鹿島橋(AA)	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.5
狩野川 大仁橋(A)	1.2	1.3	1.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.7	0.8	0.5	0.7
菊川 高田橋(A)	2.1	2.1	1.7	1.3	0.9	1.0	1.0	1.0	0.9	1.2	1.0
太田川 二瀬橋(A)	1.6	1.4	1.5	1.0	0.8	0.9	0.7	0.8	0.8	1.0	1.1
黄瀬川 あゆつぼの 滝(B)	1.6	2.2	2.6	1.7	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.3
興津川 浦安橋(B)	3.2	2.5	3.0	1.0	0.8	2.8	1.1	0.7	1.3	0.7	0.7
瀬戸川 当目大橋(B)	4.6	2.6	1.9	1.3	0.9	0.9	1.0	0.8	0.9	1.0	1.3
巴川 区境巴川橋 (C)	8.7	7.7	8.2	4.6	3.9	3.6	1.8	1.5	1.3	1.4	1.3
馬込川 白羽橋(C)	11	4.1	2.8	2.4	2.2	1.8	1.4	1.2	1.1	1.3	1.2
新川 志都呂橋(C)	8.3	9.5	7.0	5.0	5.3	4.3	4.5	3.2	4.0	3.3	4.1
大場川 塚本橋(B)	4.7	5.0	5.7	2.0	1.9	1.5	1.4	1.4	1.2	1.3	1.3
沼川 沼川新橋(D)	5.3	5.4	5.9	3.5	4.3	2.7	2.1	2.4	3.0	2.9	3.4
小石川 八雲橋(D)	15	13	5.7	4.2	3.3	4.1	3.6	2.7	1.8	2.6	2.3

(注) () 内はH24年度における環境基準類型

ウ 水質ランキング

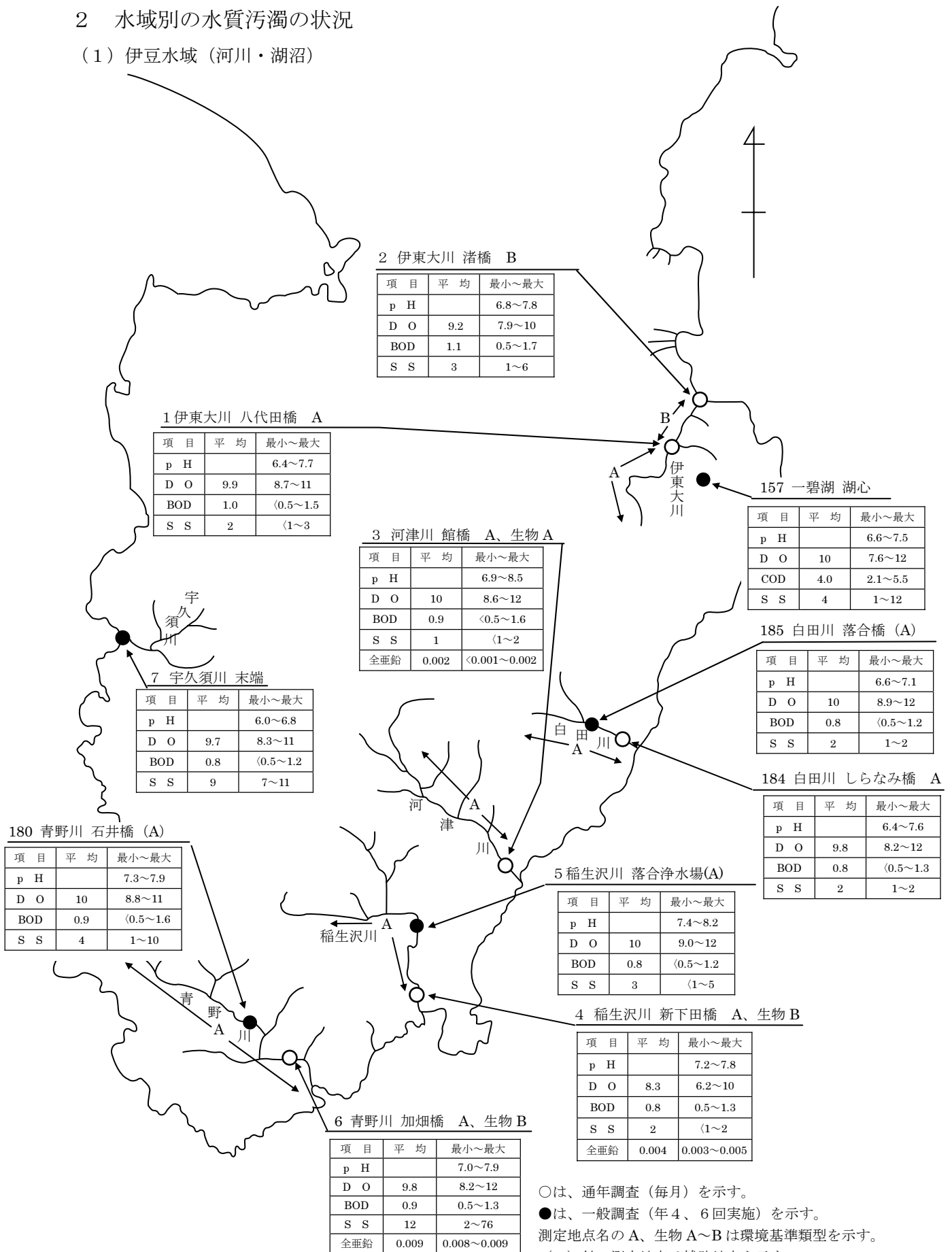
環境基準点における、BODで見た水質の順位は、表V-9のとおりである。平成23年度は<0.5mg/Lの測定地点(環境基準点)はなかったが、24年度は安倍川安倍川橋が<0.5mg/Lとなった。また、1.0mg/L以下の水質が良好な測定地点は31地点で、23年度に比べ2地点増加した。

表V-9 河川の環境基準点の水質ランキング (BOD:年度平均値)

	河川名	測定地点	平成24年度		平成23年度	
			ランク	水質 (BOD mg/L)	ランク	水質 (BOD mg/L)
1	安倍川	安倍川橋	1	<0.5	2	0.6
2	藁科川	牧ヶ谷橋	2	0.5	8	0.7
3	天竜川	鹿島橋	2	0.5	2	0.6
4	興津川	八幡橋	4	0.6	2	0.6
5	安倍川	曙橋	4	0.6	2	0.6
6	大井川	下泉橋	4	0.6	2	0.6
7	大井川	神座	4	0.6	2	0.6
8	大井川	富士見橋	4	0.6	12	0.8
9	天竜川	掛塚橋	4	0.6	8	0.7
10	狩野川	大仁橋	10	0.7	1	0.5
11	狩野川	徳倉橋	10	0.7	12	0.8
12	富士川	富士川橋	10	0.7	12	0.8
13	興津川	浦安橋	10	0.7	8	0.7
14	瀬戸川	勝草橋	10	0.7	8	0.7
15	稲生沢川	新下田橋	15	0.8	23	1.0
16	白田川	しらなみ橋	15	0.8	20	0.9
17	狩野川	瑞祥橋	15	0.8	12	0.8
18	狩野川	黒瀬橋	15	0.8	12	0.8
19	来光川	蛇ヶ橋	15	0.8	12	0.8
20	芝川	芝富橋	15	0.8	12	0.8
21	河津川	館橋	21	0.9	20	0.9
22	青野川	加畑橋	21	0.9	23	1.0
23	大場川	出逢橋	21	0.9	30	0.1
24	朝比奈川	新横内橋	21	0.9	12	0.8
25	伊東大川	八代田橋	25	1.0	30	1.1
26	鮎沢川	県境	25	1.0	30	1.1
27	来光川	大土肥橋	25	1.0	30	1.1
28	芝川	横手沢橋	25	1.0	30	1.1
29	巴川	港橋	25	1.0	-	1.2
30	菊川	高田橋	25	1.0	-	1.2
31	菊川	国安橋	25	1.0	20	0.9

2 水域別の水質汚濁の状況

(1) 伊豆水域 (河川・湖沼)



○は、通年調査 (毎月) を示す。

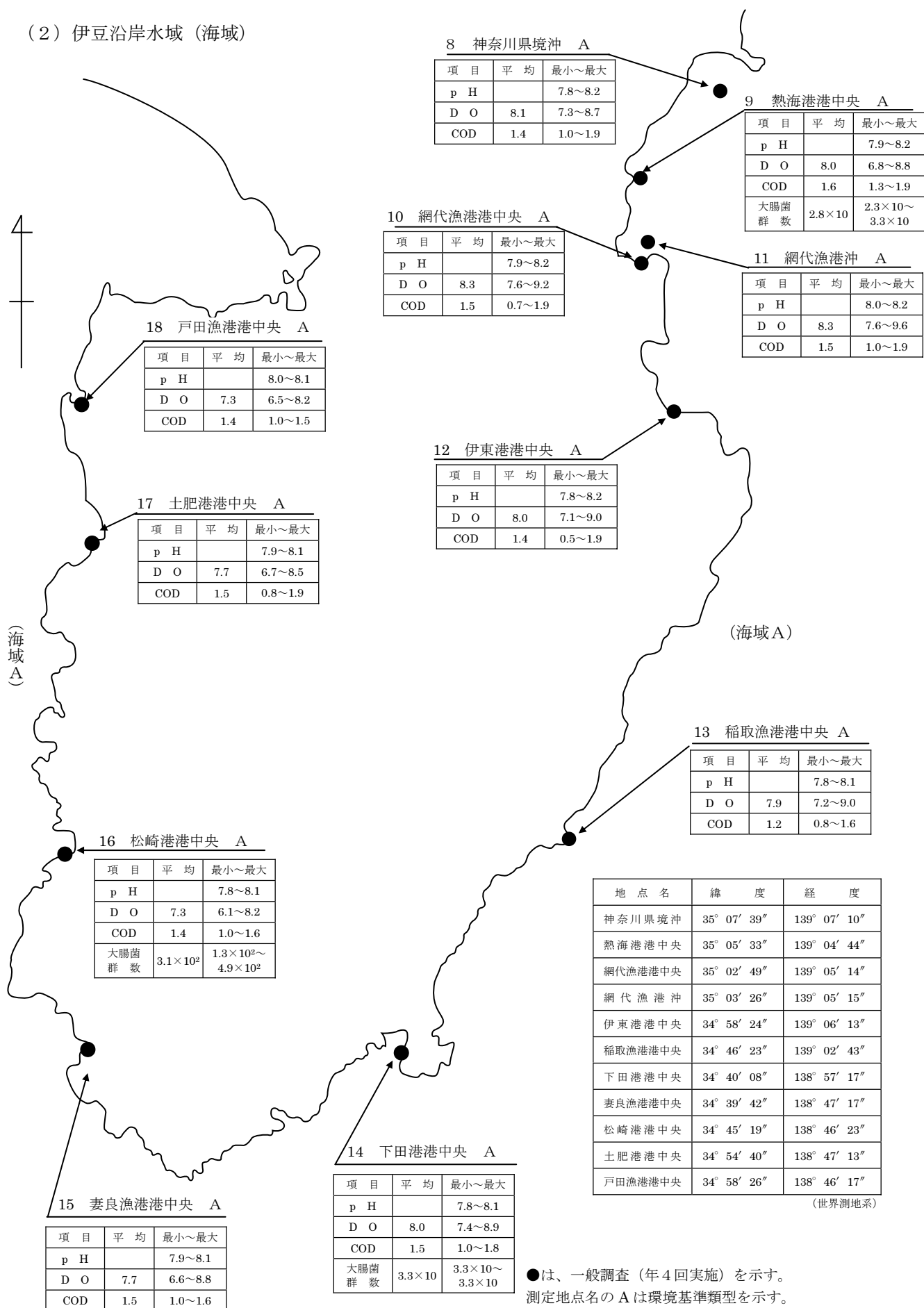
●は、一般調査 (年4、6回実施) を示す。

測定地点名の A、生物 A～B は環境基準類型を示す。

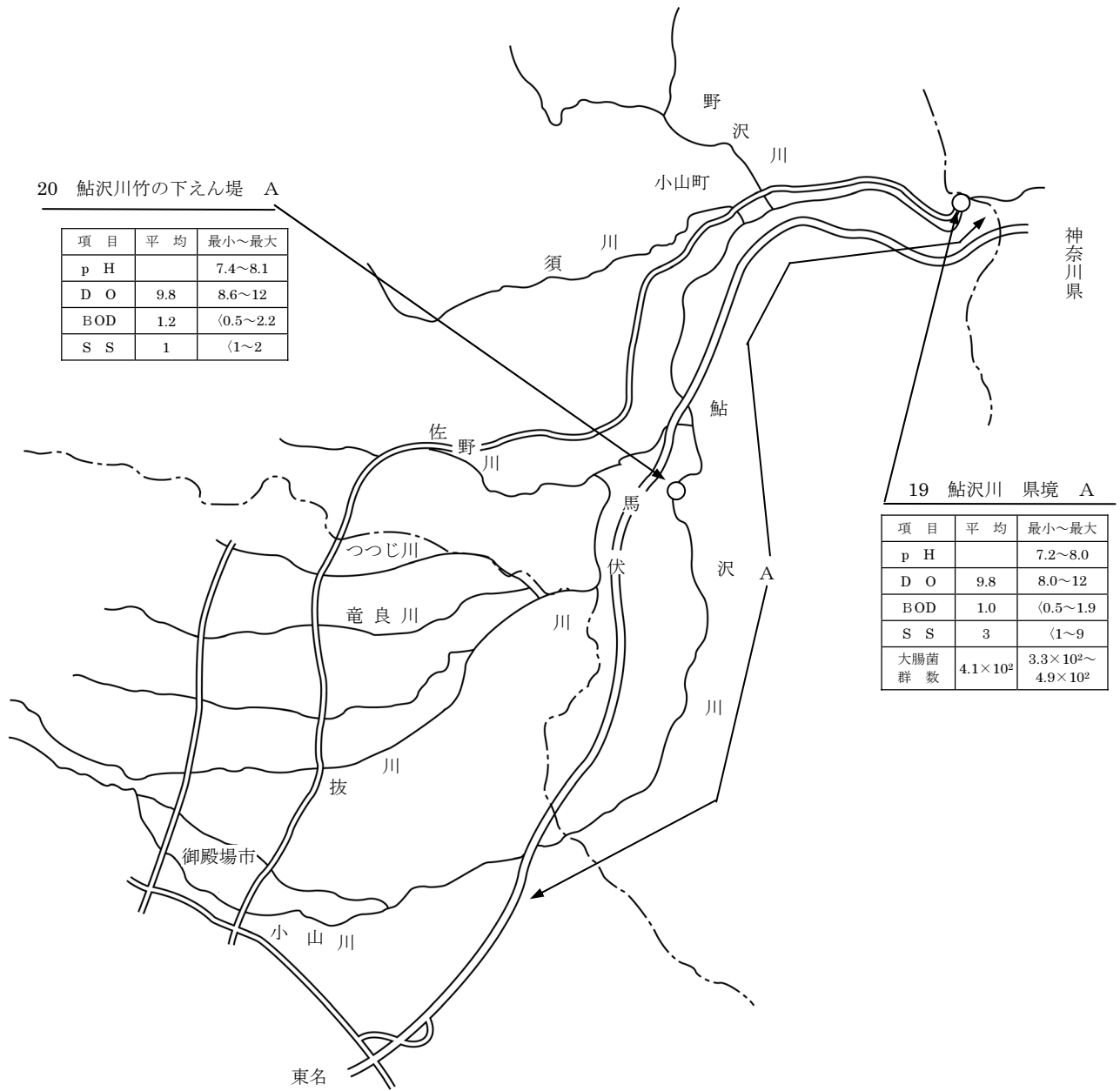
() 付の測定地点は補助地点を示す。

最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

(2) 伊豆沿岸水域 (海域)



(3) 鮎沢川水域 (河川)



20 鮎沢川竹の下えん堤 A

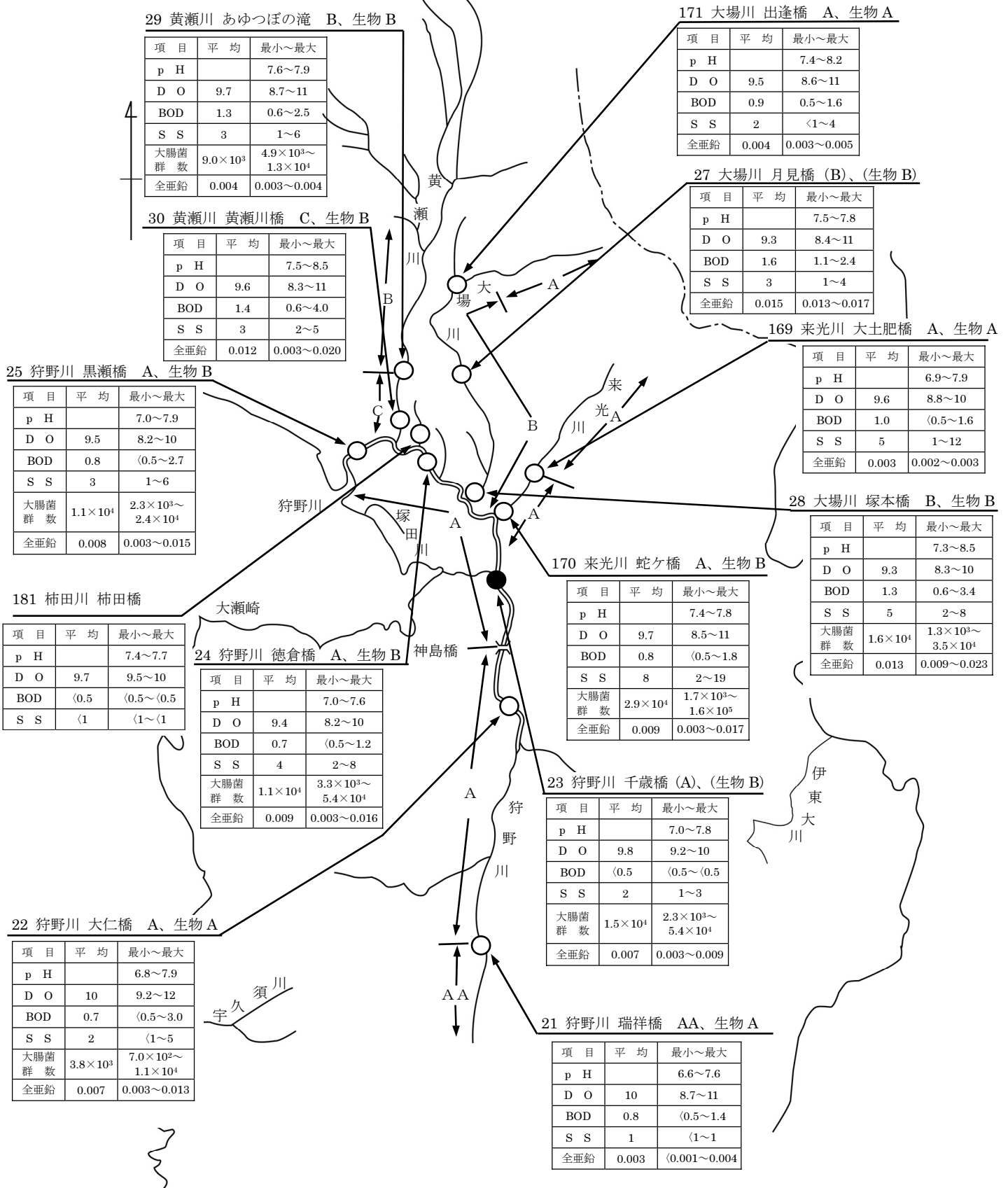
項目	平均	最小~最大
p H		7.4~8.1
D O	9.8	8.6~12
BOD	1.2	0.5~2.2
S S	1	1~2

19 鮎沢川 県境 A

項目	平均	最小~最大
p H		7.2~8.0
D O	9.8	8.0~12
BOD	1.0	0.5~1.9
S S	3	1~9
大腸菌 群数	4.1×10^2	$3.3 \times 10^2 \sim 4.9 \times 10^2$

○は、通年調査（毎月実施）を示す。
 測定地点名のAは、環境基準類型を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

(4) 狩野川水域 (河川)



○は、通年調査 (毎月実施) を示す。

●は、一般調査 (年4回実施) を示す。

測定地点名の AA~B、生物 A~B は、環境基準類型を示す。

() 付の測定地点は補助地点を示す。

最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

◎は、通年調査（毎月実施）と通日調査（5月に1日13回実施）を示す。

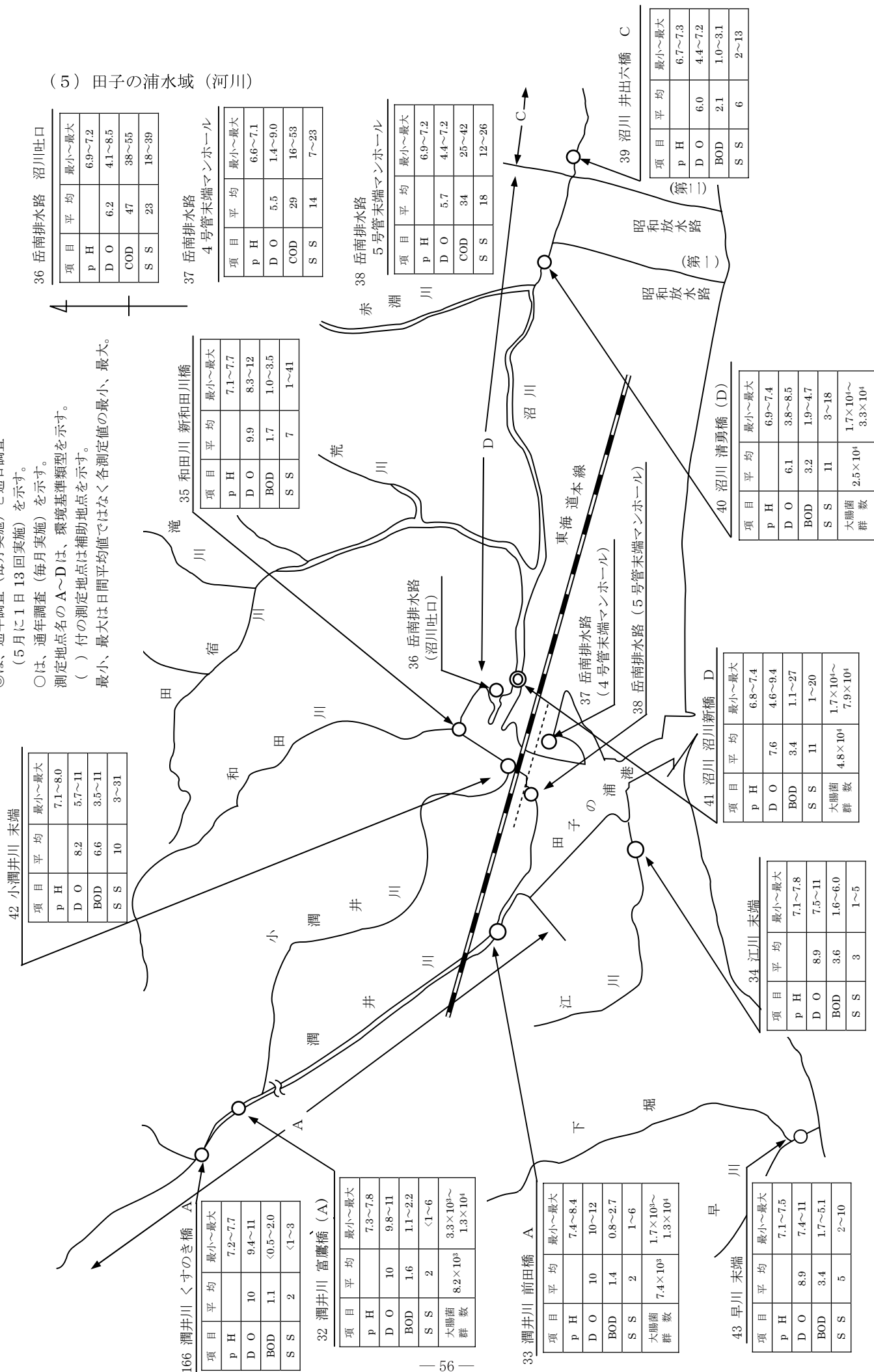
○は、通年調査（毎月実施）を示す。

測定地点名のA~Dは、環境基準類型を示す。

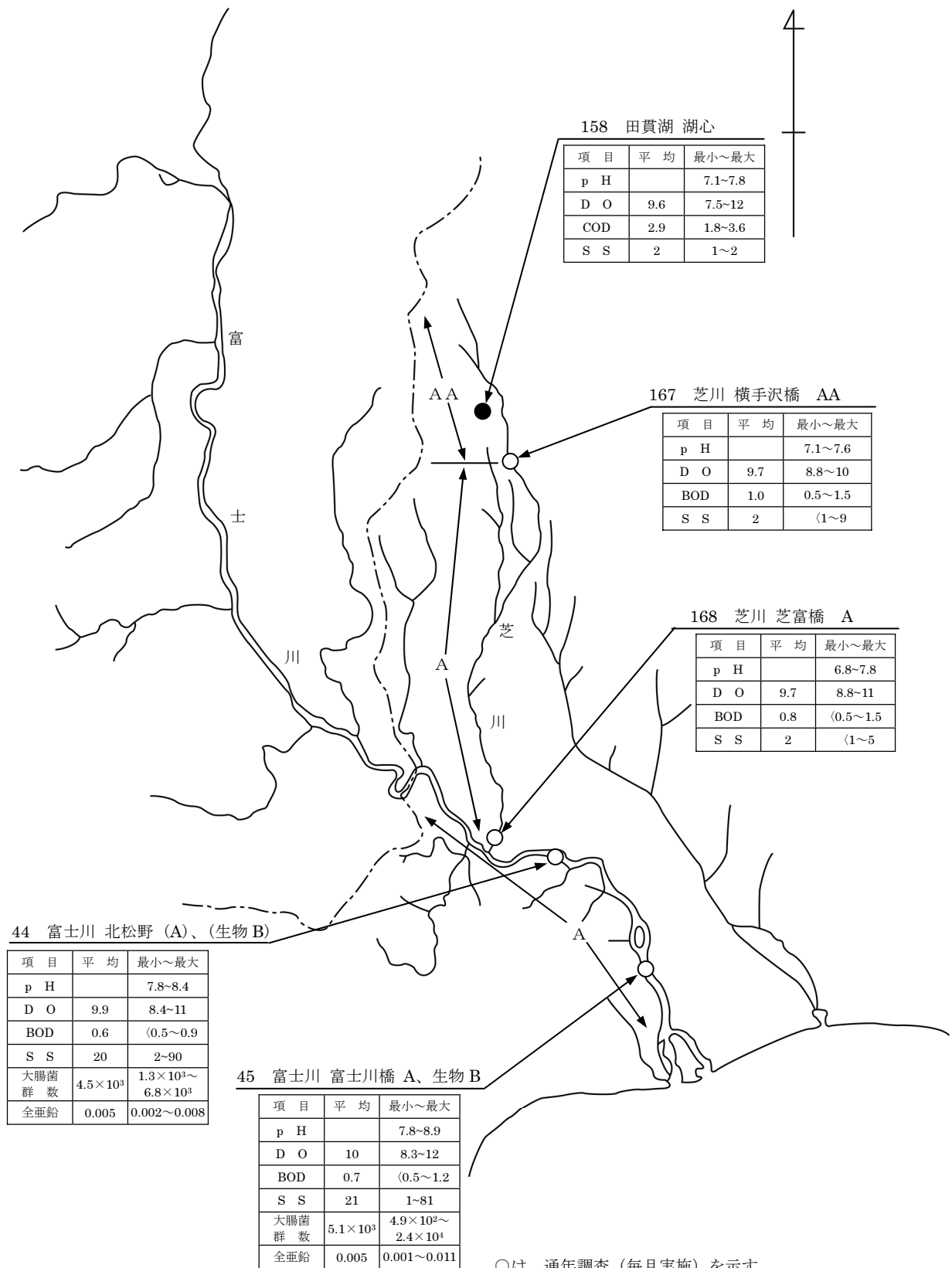
() 付の測定地点は補助地点を示す。

最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

(5) 田子の浦水域（河川）



(6) 富士川水域 (河川・湖沼)



○は、通年調査（毎月実施）を示す。

●は、一般調査（年6回実施）を示す。

測定地点名のAA～A、生物Aは、環境基準類型を示す。

() 付の測定地点は補助地点を示す。

最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

(7) 奥駿河湾水域 (河川)

52 興津川 浦安橋 B、生物 B

項目	平均	最小～最大
p H		7.4～9.1
D O	11	8.9～13
BOD	0.7	(0.5～0.9)
S S	2	(1～3)
大腸菌 群数	4.2×10^3	$4.9 \times 10^2 \sim 1.1 \times 10^4$
全亜鉛	0.006	0.002～0.011

51 興津川 八幡橋 A、生物 A

項目	平均	最小～最大
p H		7.6～8.9
D O	10	8.3～15
BOD	0.6	(0.5～0.8)
S S	1	(1～2)
大腸菌 群数	2.6×10^3	$6.3 \times 10^2 \sim 7.9 \times 10^3$
全亜鉛	0.007	0.002～0.012

48 巴川 巴川橋(区境巴川橋) C

項目	平均	最小～最大
p H		7.2～7.6
D O	7.9	5.7～9.7
BOD	1.3	0.6～1.7
S S	6	2～10
大腸菌 群数	1.8×10^4	$4.6 \times 10^3 \sim 5.4 \times 10^5$

186 巴川 巴大橋 (C)

項目	平均	最小～最大
p H		7.1～7.6
D O	7.6	5.1～9.6
BOD	1.7	1.2～2.5
S S	7	3～11
大腸菌 群数	8.3×10^4	$4.9 \times 10^3 \sim 2.4 \times 10^5$

183 由比川 入山橋

項目	平均	最小～最大
p H		7.9～8.9
D O	10	9.3～13
BOD	0.6	(0.5～0.8)
S S	(1)	(1～1)
大腸菌 群数	1.9×10^3	$7.9 \times 10^2 \sim 4.6 \times 10^3$

54 新中川 間門橋

項目	平均	最小～最大
p H		7.3～9.3
D O	11	10～12
BOD	3.0	1.6～5.1
S S	13	1～36

53 由比川 末端

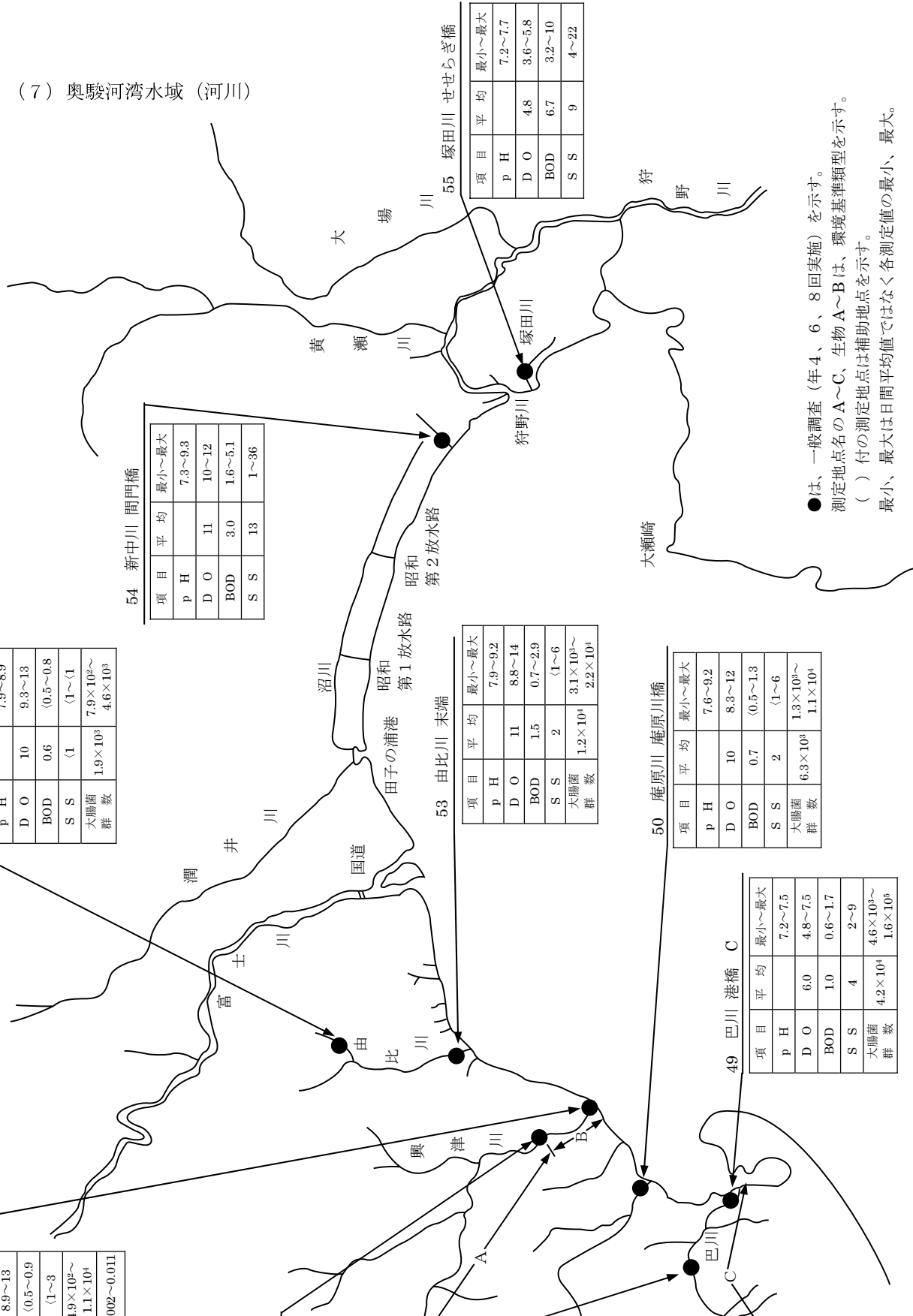
項目	平均	最小～最大
p H		7.9～9.2
D O	11	8.8～14
BOD	1.5	0.7～2.9
S S	2	(1～6)
大腸菌 群数	1.2×10^4	$3.1 \times 10^3 \sim 2.2 \times 10^4$

50 庵原川 庵原川橋

項目	平均	最小～最大
p H		7.6～9.2
D O	10	8.3～12
BOD	0.7	(0.5～1.3)
S S	2	(1～6)
大腸菌 群数	6.3×10^3	$1.3 \times 10^3 \sim 1.1 \times 10^4$

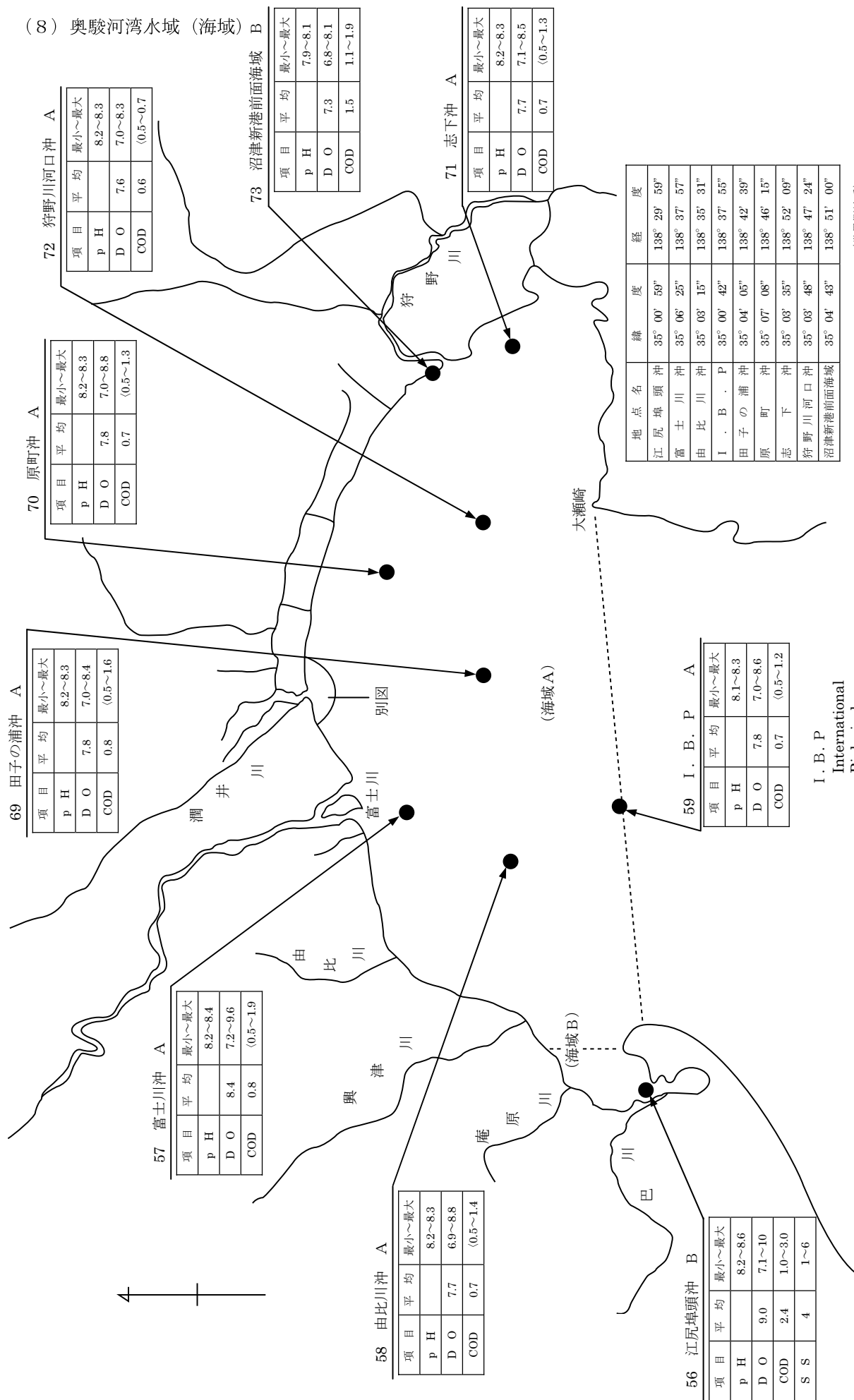
49 巴川 港橋 C

項目	平均	最小～最大
p H		7.2～7.5
D O	6.0	4.8～7.5
BOD	1.0	0.6～1.7
S S	4	2～9
大腸菌 群数	4.2×10^4	$4.6 \times 10^3 \sim 1.6 \times 10^5$



●は、一般調査(年4、6、8回実施)を示す。
測定地点名のA～C、生物A～Bは、環境基準類型を示す。
() 付の測定地点は補助地点を示す。
最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

(8) 奥駿河湾水域 (海域)



●は、一般調査 (年 4 回実施) を示す。

測定地点名の A~B は、環境基準類型を示す。

最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

奥駿河湾水域（海域）別図

○は、通年調査（毎月実施）を示す。

●は、一般調査（年4、8回実施）を示す。

測定地点名のA～Cは、環境基準類型を示す。

最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

61 C 水域田子の浦港2 C

項目	平均	最小～最大
p H		7.5～8.4
D O	6.8	4.1～8.3
COD	2.4	0.5～7.8
S S	3	1～5

60 C 水域田子の浦港1 C

項目	平均	最小～最大
p H		7.3～8.3
D O	6.8	5.1～8.7
COD	2.3	(0.5～6.4)
S S	2	1～4

62 C 水域田子の浦港3 C

項目	平均	最小～最大
p H		8.2～8.4
D O	7.3	6.3～8.2
COD	1.0	(0.5～1.6)
S S	2	(1～4)

65 B 水域田子の浦地先3 B

項目	平均	最小～最大
p H		8.2～8.4
D O	7.5	6.6～8.2
COD	0.9	(0.5～1.7)
S S	2	(1～3)

68 A 水域田子の浦地先3 A

項目	平均	最小～最大
p H		8.2～8.4
D O	7.5	6.6～8.5
COD	1.0	(0.5～1.9)
S S	2	(1～4)

64 B 水域田子の浦地先2 B

項目	平均	最小～最大
p H		8.2～8.4
D O	7.4	6.4～8.4
COD	1.1	(0.5～1.8)
S S	2	(1～3)

67 A 水域田子の浦地先2 A

項目	平均	最小～最大
p H		8.2～8.4
D O	7.5	6.5～8.2
COD	1.1	(0.5～2.0)
S S	2	(1～5)

63 B 水域田子の浦地先1 B

項目	平均	最小～最大
p H		7.6～8.4
D O	7.2	6.1～8.2
COD	1.8	(0.5～5.1)
S S	2	(1～5)

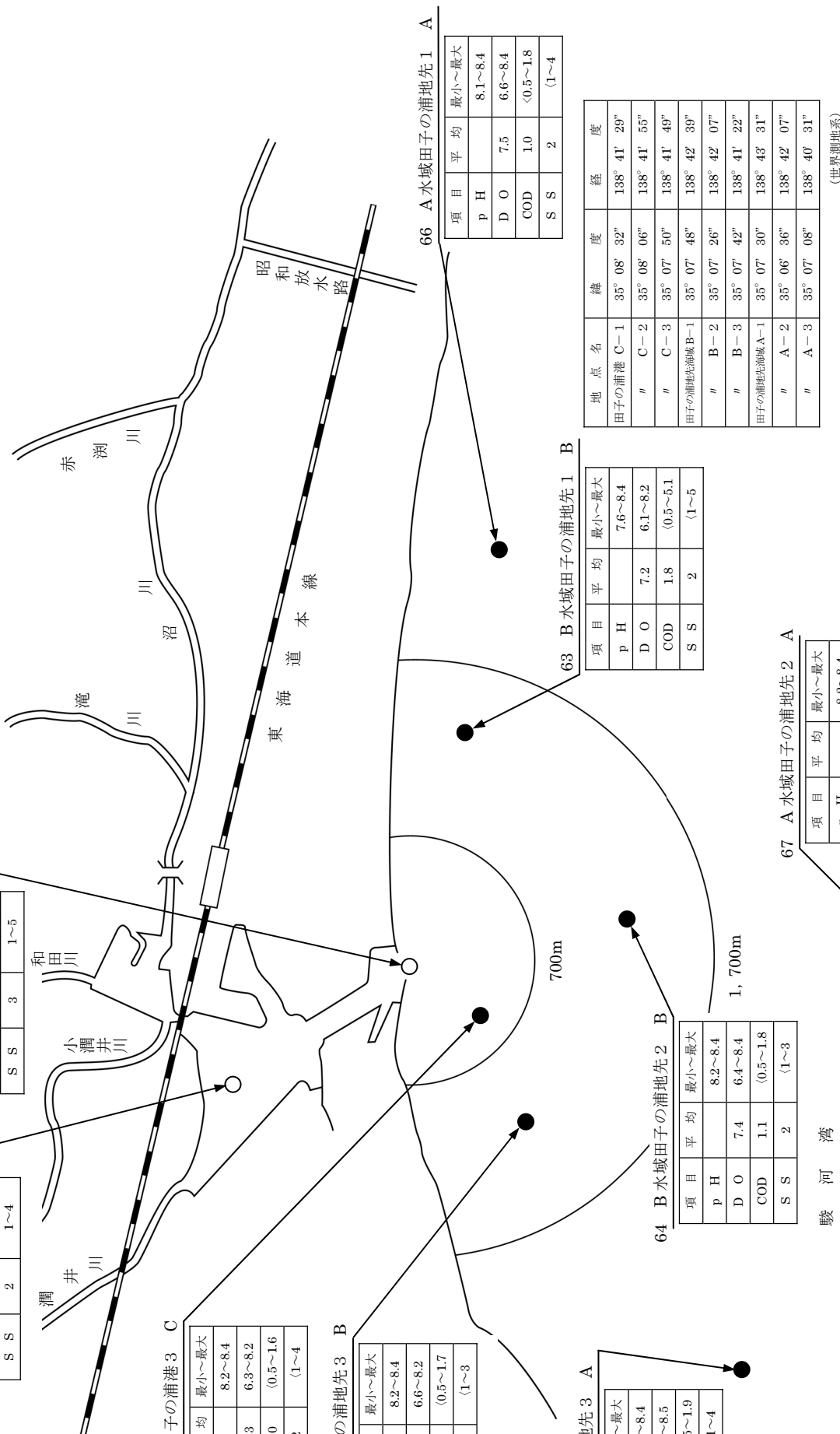
66 A 水域田子の浦地先1 A

項目	平均	最小～最大
p H		8.1～8.4
D O	7.5	6.6～8.4
COD	1.0	(0.5～1.8)
S S	2	(1～4)

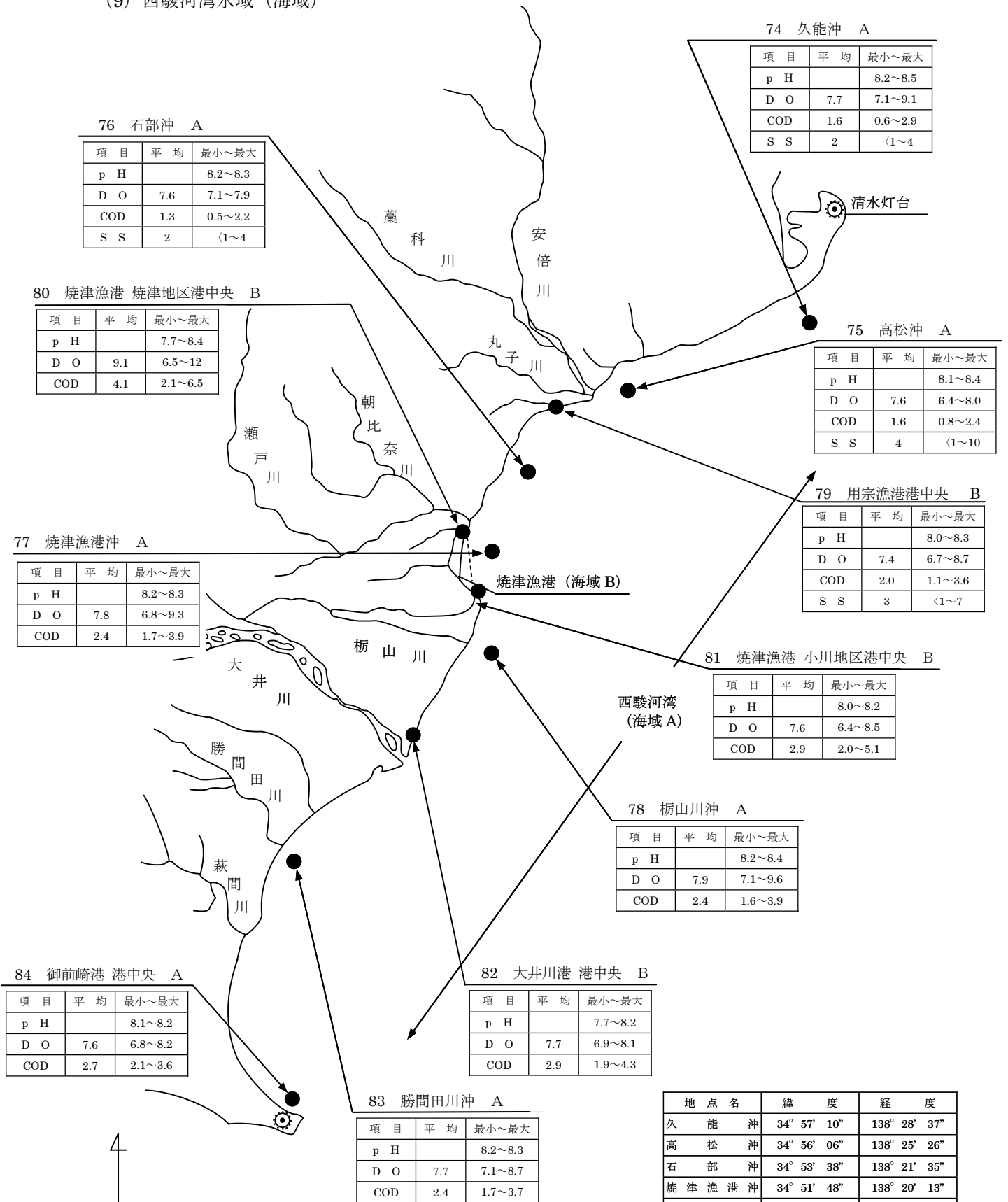
田子の浦港 C-1

地点名	緯度	経度
田子の浦港 C-1	35° 08' 32"	138° 41' 29"
" C-2	35° 08' 06"	138° 41' 55"
" C-3	35° 07' 50"	138° 41' 49"
田子の浦地先海域 B-1	35° 07' 48"	138° 42' 39"
" B-2	35° 07' 26"	138° 42' 07"
" B-3	35° 07' 42"	138° 41' 22"
田子の浦地先海域 A-1	35° 07' 30"	138° 43' 31"
" A-2	35° 06' 36"	138° 42' 07"
" A-3	35° 07' 08"	138° 40' 31"

(世界測地系)



(9) 西駿河湾水域 (海域)



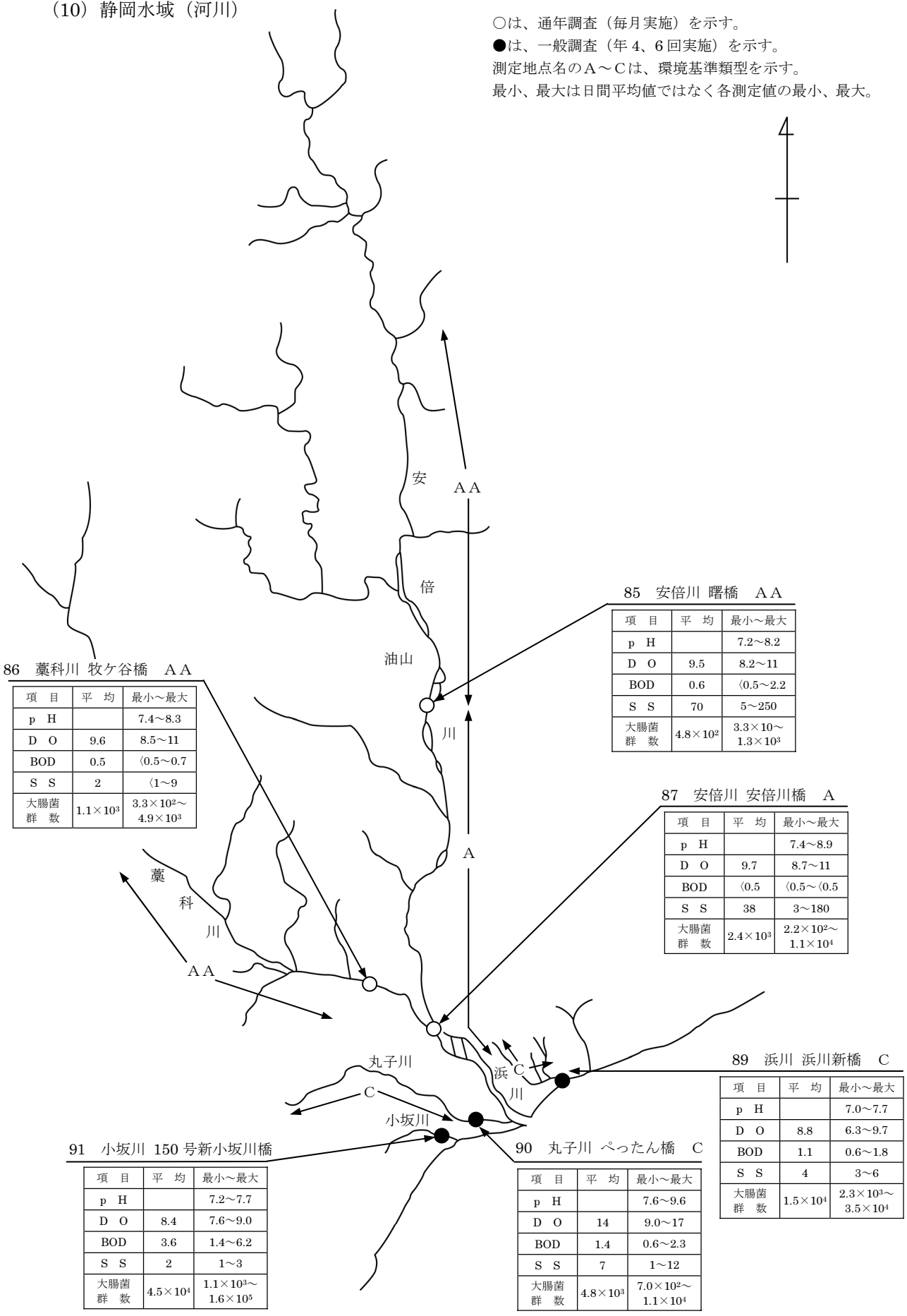
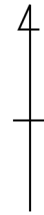
●は、一般調査（年4回実施）を示す。
 測定地点名のA~Bは、環境基準類型を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

地点名	緯度	経度
久能沖	34° 57' 10"	138° 28' 37"
高松沖	34° 56' 06"	138° 25' 26"
石部沖	34° 53' 38"	138° 21' 35"
焼津漁港沖	34° 51' 48"	138° 20' 13"
枋山川沖	34° 48' 52"	138° 20' 25"
用宗漁港港中央	34° 55' 23"	138° 22' 08"
焼津漁港焼津地区港中央	34° 52' 06"	138° 19' 52"
焼津漁港小川地区港中央	34° 51' 01"	138° 19' 47"
大井川港港中央	34° 46' 43"	138° 17' 41"
勝間田川沖	34° 43' 45"	138° 16' 06"
御前崎港港中央	34° 36' 55"	138° 13' 15"

(世界測地系)

(10) 静岡水域（河川）

○は、通年調査（毎月実施）を示す。
 ●は、一般調査（年4、6回実施）を示す。
 測定地点名のA～Cは、環境基準類型を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。



86 藁科川 牧ヶ谷橋 AA

項目	平均	最小～最大
p H		7.4～8.3
D O	9.6	8.5～11
BOD	0.5	0.5～0.7
S S	2	1～9
大腸菌群数	1.1×10^3	$3.3 \times 10^2 \sim 4.9 \times 10^3$

85 安倍川 曙橋 AA

項目	平均	最小～最大
p H		7.2～8.2
D O	9.5	8.2～11
BOD	0.6	0.5～2.2
S S	70	5～250
大腸菌群数	4.8×10^2	$3.3 \times 10^1 \sim 1.3 \times 10^3$

87 安倍川 安倍川橋 A

項目	平均	最小～最大
p H		7.4～8.9
D O	9.7	8.7～11
BOD	0.5	0.5～0.5
S S	38	3～180
大腸菌群数	2.4×10^3	$2.2 \times 10^2 \sim 1.1 \times 10^4$

89 浜川 浜川新橋 C

項目	平均	最小～最大
p H		7.0～7.7
D O	8.8	6.3～9.7
BOD	1.1	0.6～1.8
S S	4	3～6
大腸菌群数	1.5×10^4	$2.3 \times 10^3 \sim 3.5 \times 10^4$

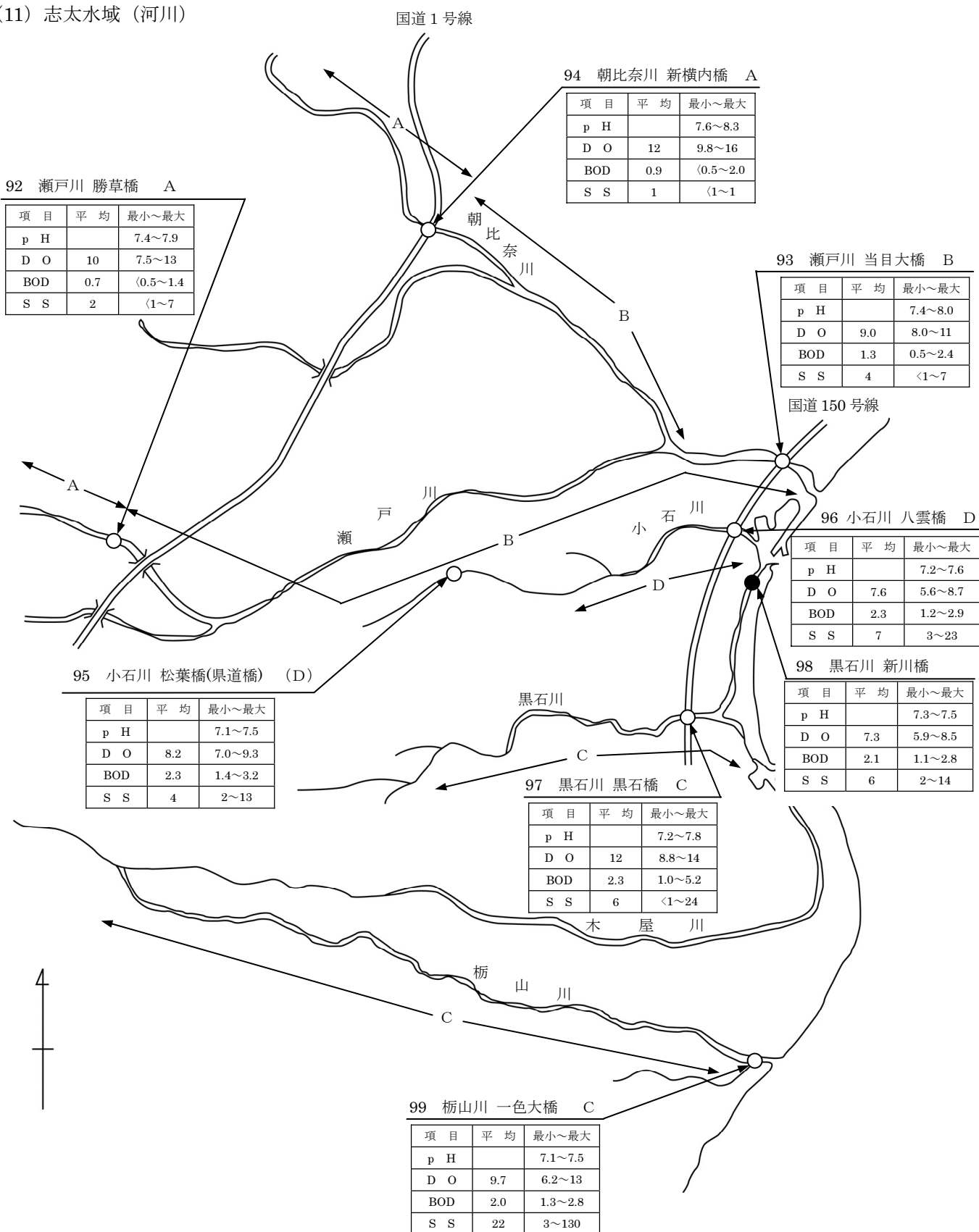
91 小坂川 150号新小坂川橋

項目	平均	最小～最大
p H		7.2～7.7
D O	8.4	7.6～9.0
BOD	3.6	1.4～6.2
S S	2	1～3
大腸菌群数	4.5×10^4	$1.1 \times 10^3 \sim 1.6 \times 10^5$

90 丸子川 べったん橋 C

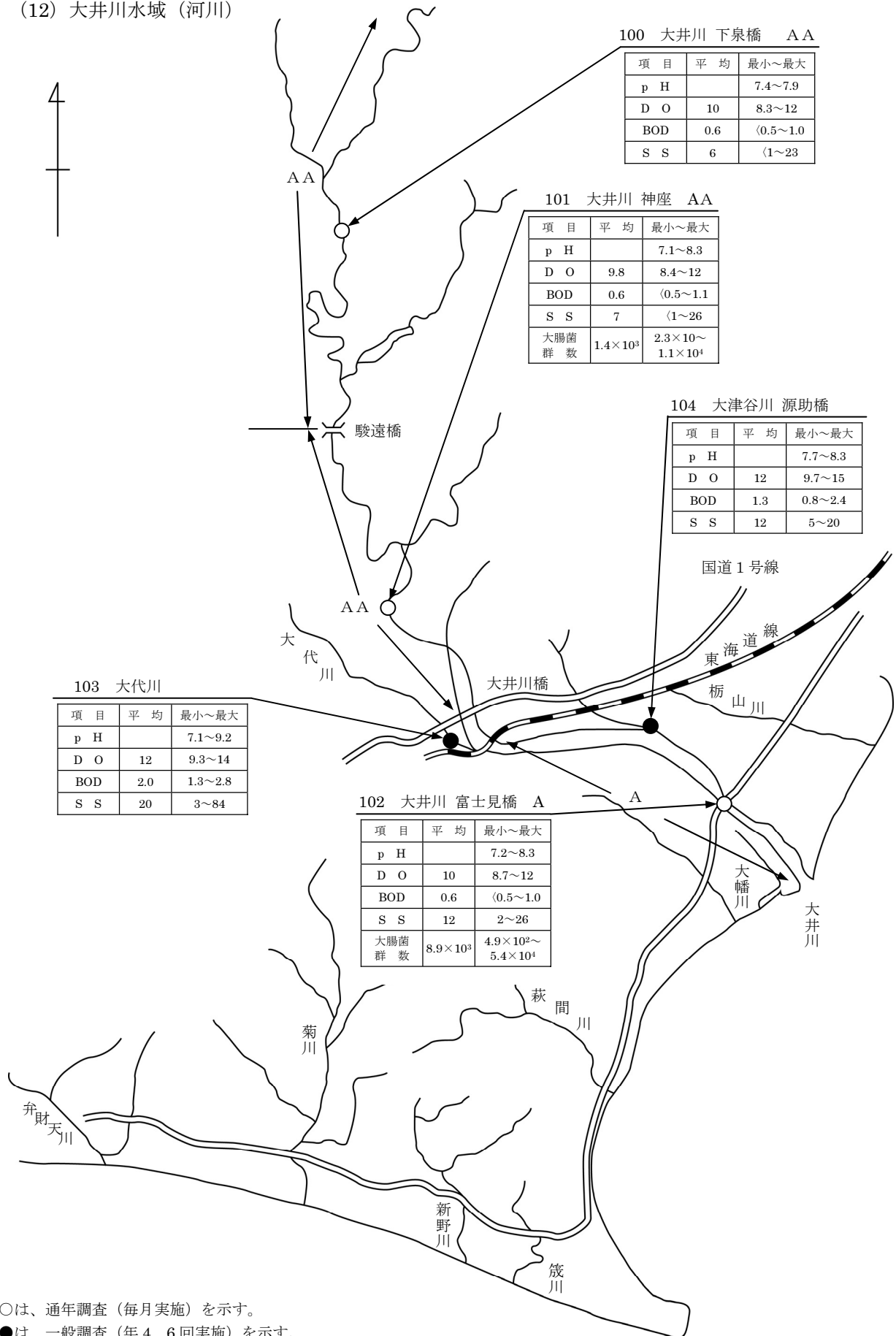
項目	平均	最小～最大
p H		7.6～9.6
D O	14	9.0～17
BOD	1.4	0.6～2.3
S S	7	1～12
大腸菌群数	4.8×10^3	$7.0 \times 10^2 \sim 1.1 \times 10^4$

(11) 志太水域 (河川)



○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年6回実施) を示す。
 測定地点名の A~D は、環境基準類型を示す。
 () 付の測定地点は補助地点を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

(12) 大井川水域 (河川)



100 大井川 下泉橋 AA

項目	平均	最小~最大
p H		7.4~7.9
D O	10	8.3~12
BOD	0.6	<0.5~1.0
S S	6	<1~23

101 大井川 神座 AA

項目	平均	最小~最大
p H		7.1~8.3
D O	9.8	8.4~12
BOD	0.6	<0.5~1.1
S S	7	<1~26
大腸菌 群 数	1.4×10^3	2.3×10^2 ~ 1.1×10^4

104 大津谷川 源助橋

項目	平均	最小~最大
p H		7.7~8.3
D O	12	9.7~15
BOD	1.3	0.8~2.4
S S	12	5~20

103 大代川

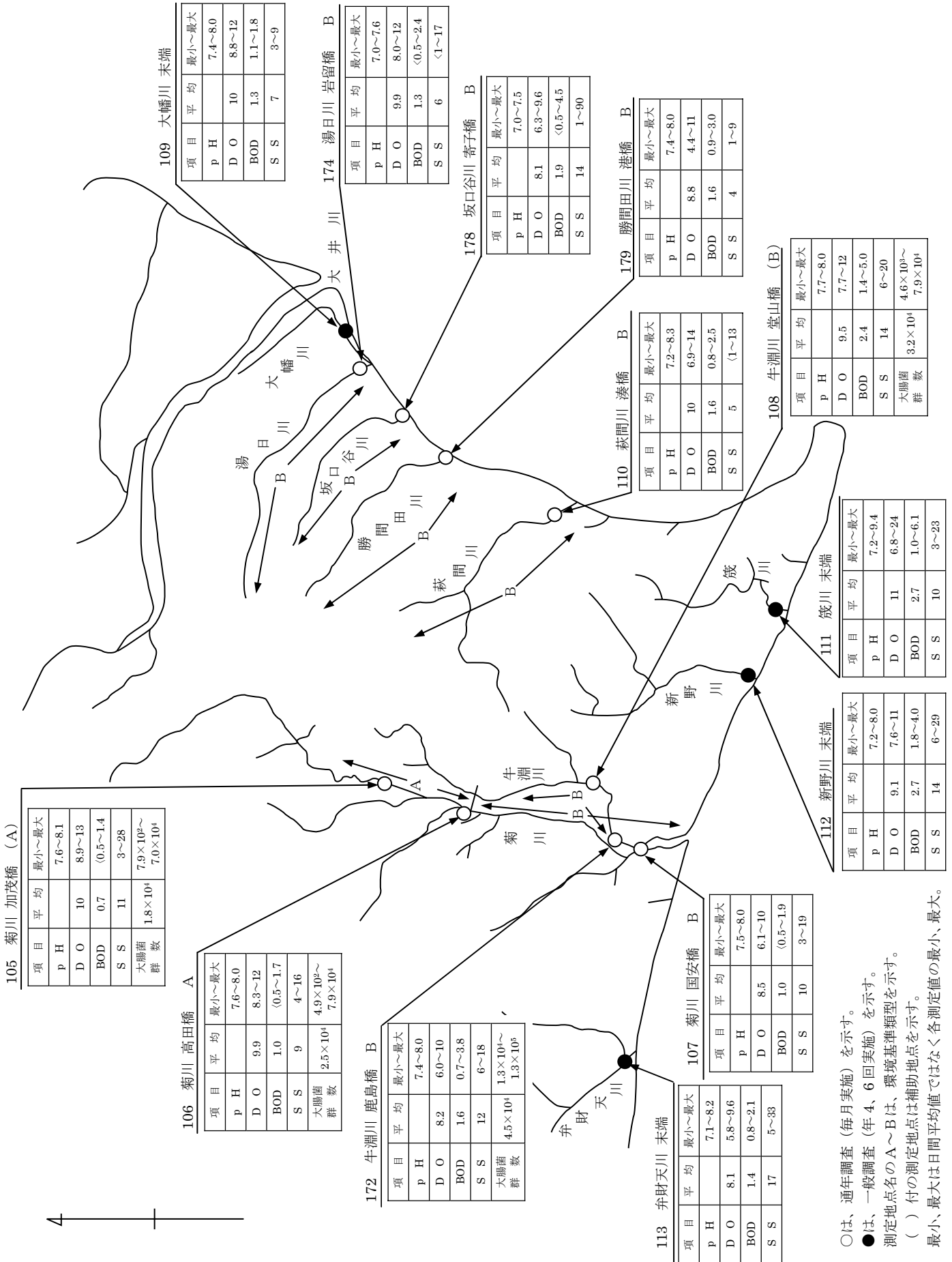
項目	平均	最小~最大
p H		7.1~9.2
D O	12	9.3~14
BOD	2.0	1.3~2.8
S S	20	3~84

102 大井川 富士見橋 A

項目	平均	最小~最大
p H		7.2~8.3
D O	10	8.7~12
BOD	0.6	<0.5~1.0
S S	12	2~26
大腸菌 群 数	8.9×10^3	4.9×10^2 ~ 5.4×10^4

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年 4、6 回実施) を示す。
 測定地点名の AA~B は、環境基準類型を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

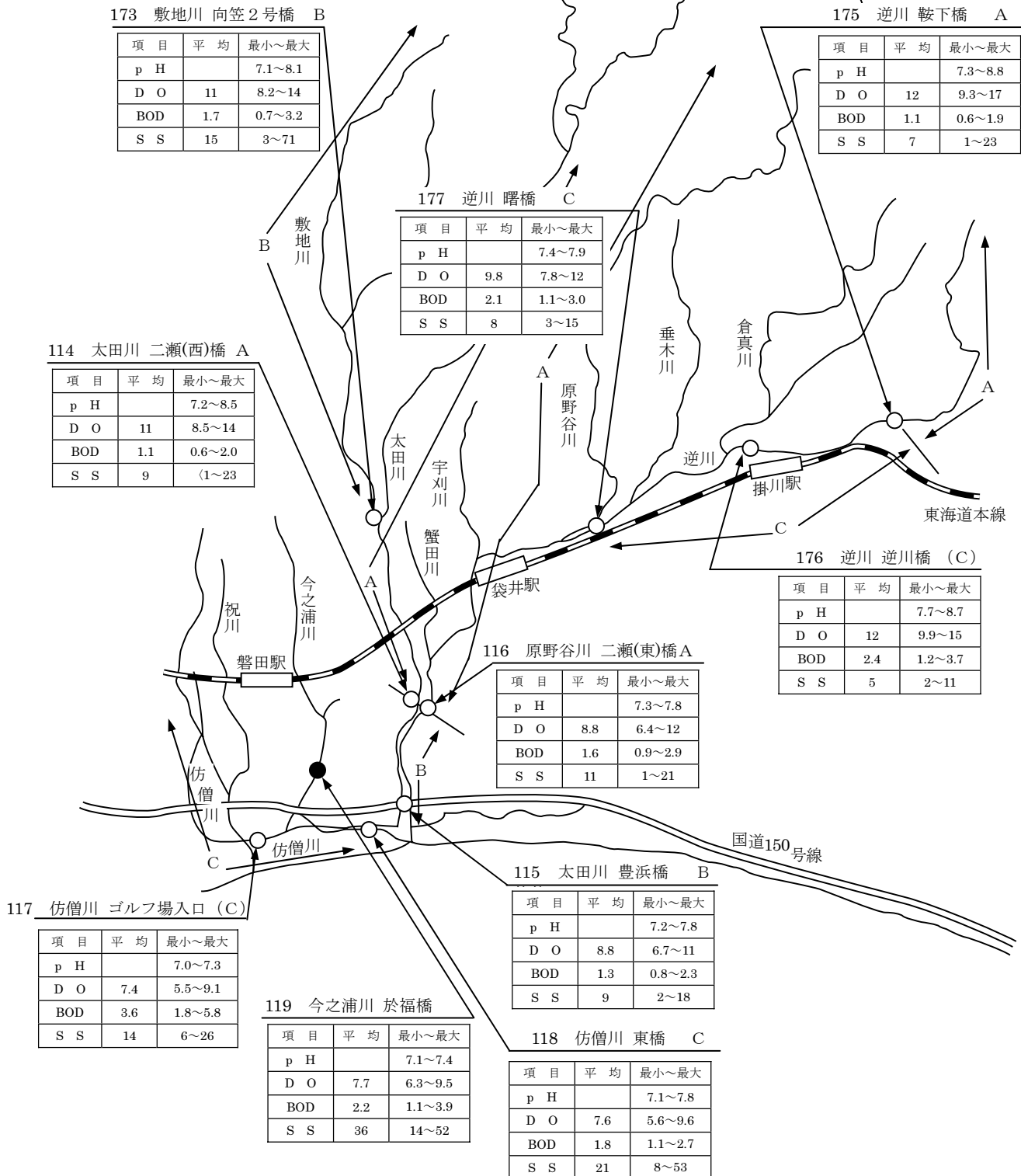
(13) 榛南小笠水域 (河川)



○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年 4、6 回実施) を示す。
 測定地点名の A~B は、環境基準準拠型を示す。
 () 付の測定地点は補助地点を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

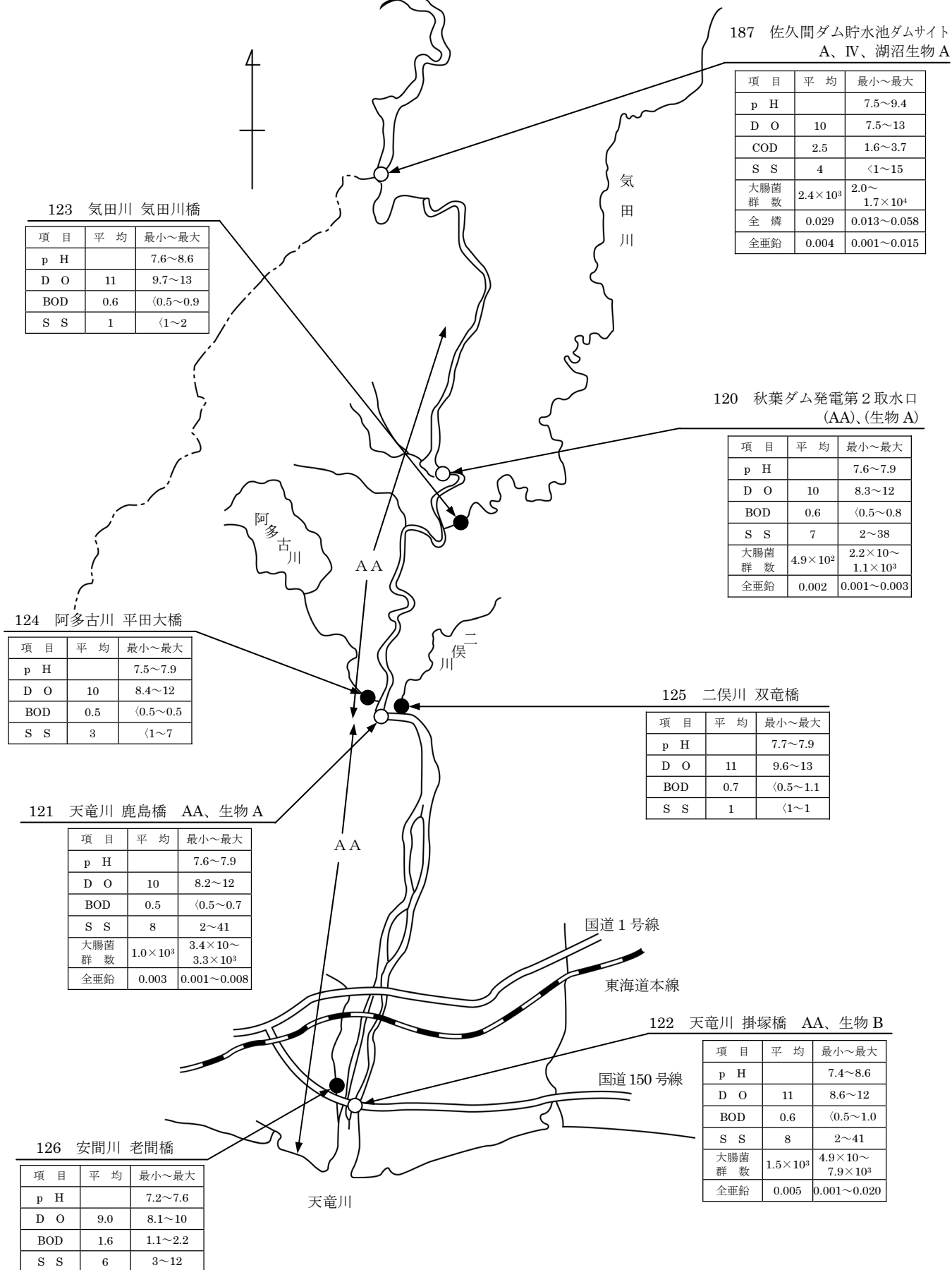
(14) 太田川水域 (河川)

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年6回実施) を示す。
 測定地点名のA~Cは、環境基準類型を示す。
 () 付きの測定地点は補助地点を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。



(15) 天竜川水域 (河川・湖沼)

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年 4、6 回実施) を示す。
 測定地点名の AA~A、IV、生物 A~B は、環境基準類型を示す。
 () 付の測定地点は補助地点を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。



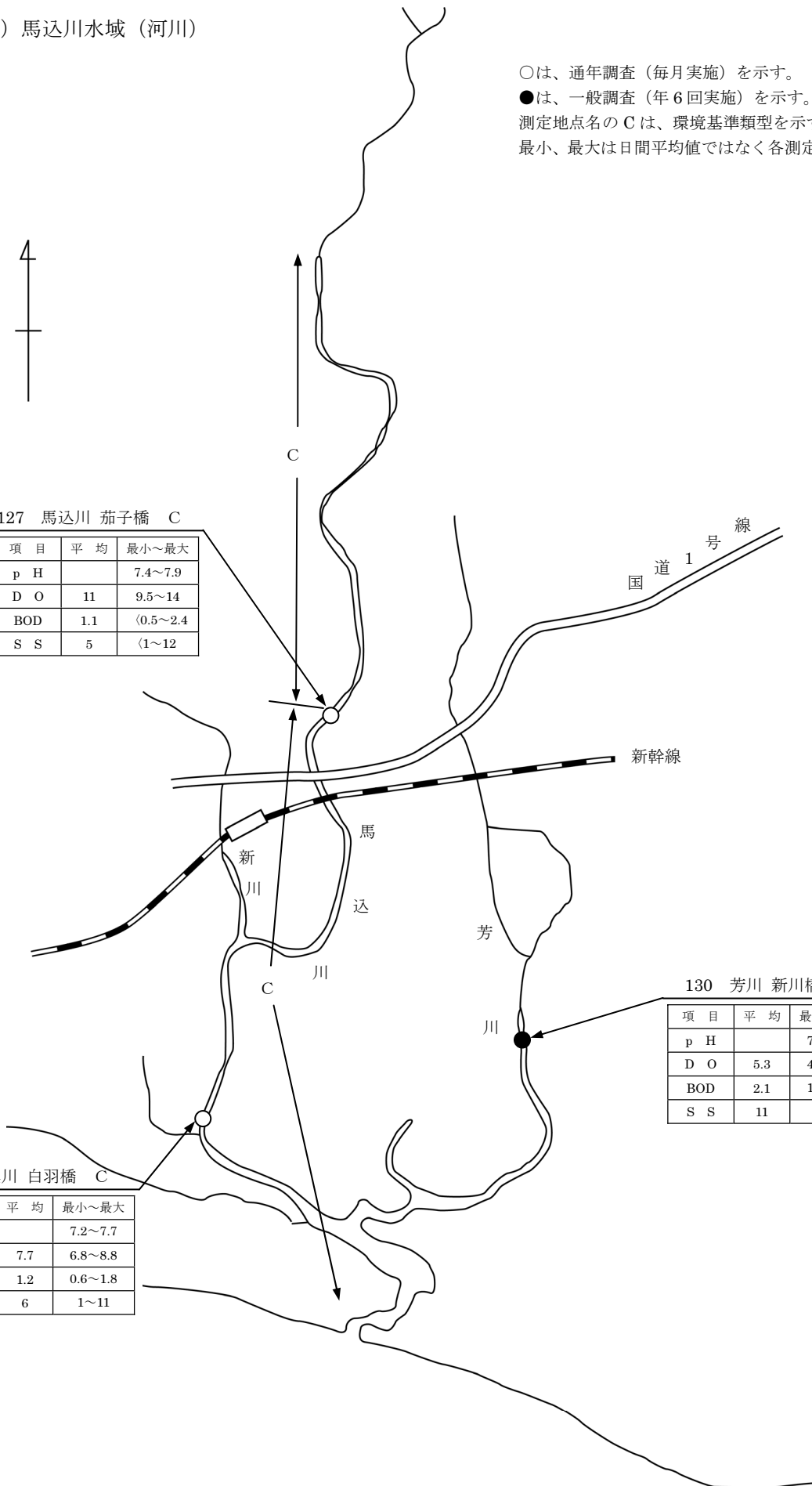
(16) 馬込川水域 (河川)

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 ●は、一般調査 (年6回実施) を示す。
 測定地点名の C は、環境基準類型を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。



127 馬込川 茄子橋 C

項目	平均	最小~最大
p H		7.4~7.9
D O	11	9.5~14
BOD	1.1	0.5~2.4
S S	5	1~12



130 芳川 新川橋

項目	平均	最小~最大
p H		7.0~7.4
D O	5.3	4.3~6.7
BOD	2.1	1.3~3.1
S S	11	9~14

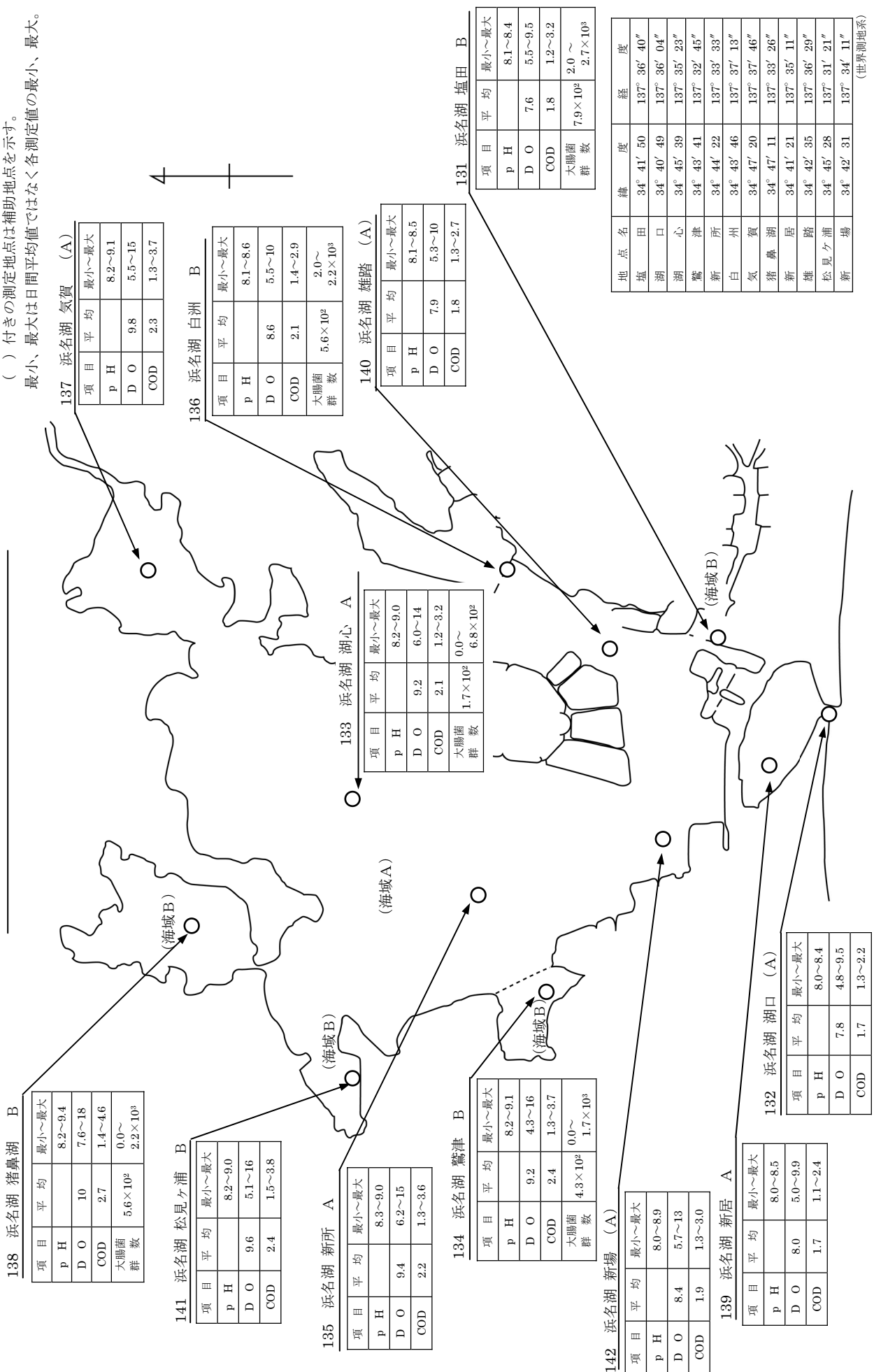
128 馬込川 白羽橋 C

項目	平均	最小~最大
p H		7.2~7.7
D O	7.7	6.8~8.8
BOD	1.2	0.6~1.8
S S	6	1~11

(17) 浜名湖水域 (海域) pH、DO、COD、大腸菌群数

○は、通年調査 (毎月実施) を示す。
 測定地点名のA～Bは、環境基準類型を示す。
 () 付きの測定地点は補助地点を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

浜名湖水域 (海域) pH、DO、COD、大腸菌群数



浜名湖水域（海域）全窒素、全磷

○は、通年調査（毎月実施）を示す。
測定地点名のⅡ～Ⅲは、環境基準類型を示す。
平均値、最小～最大は上層の値。
最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

浜名湖水域（海域）全窒素、全磷

138 浜名湖 猪鼻湖 Ⅲ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.69	0.28～1.8
全磷	0.034	0.012～0.10

141 浜名湖 松見ヶ浦

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.31	0.19～0.53
全磷	0.022	0.010～0.052

135 浜名湖 新所 Ⅲ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.28	0.17～0.48
全磷	0.019	0.008～0.048

134 浜名湖 鷺津

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.46	0.20～1.3
全磷	0.037	0.010～0.14

142 浜名湖 新場 Ⅱ

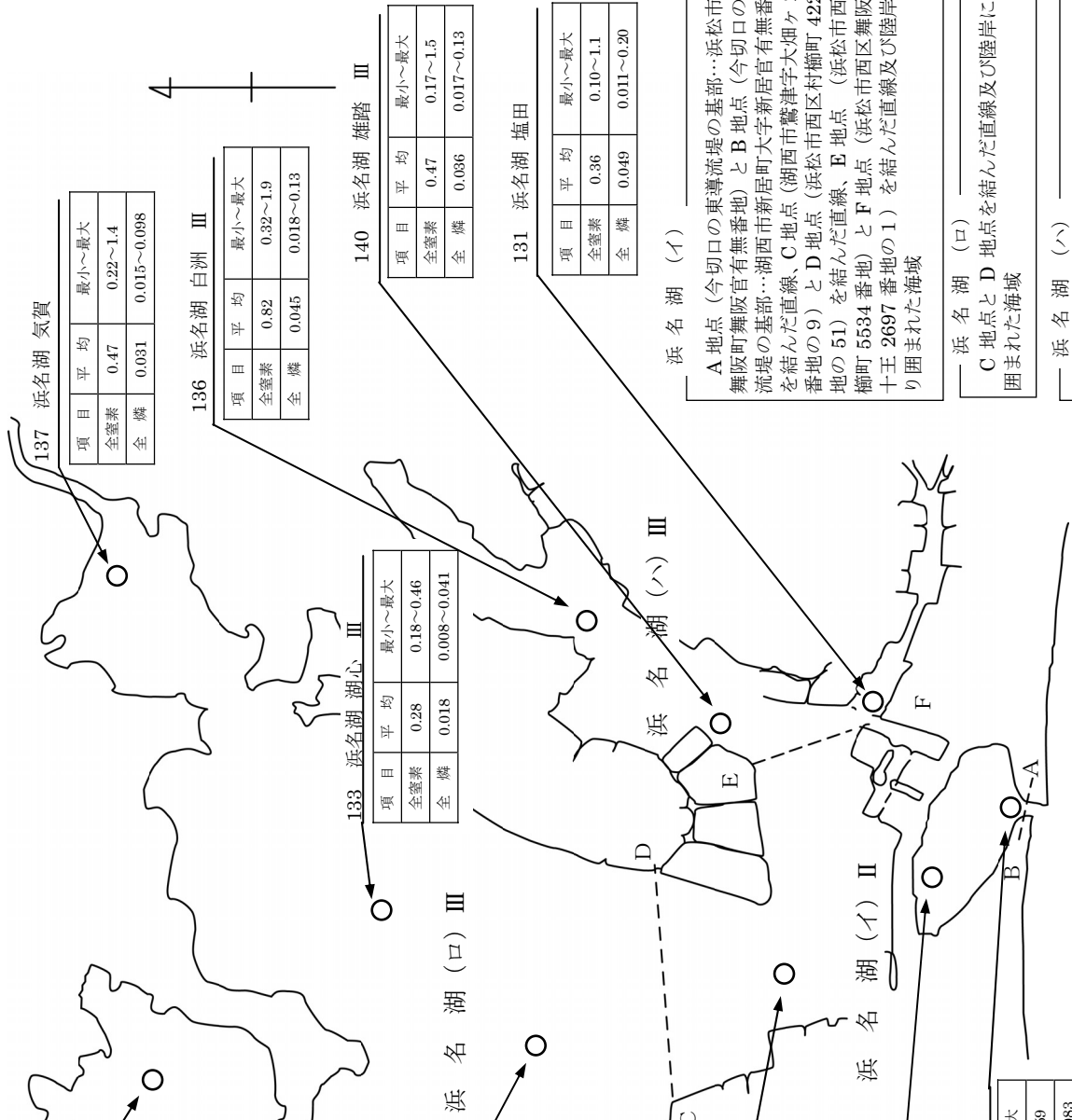
項目	平均	最小～最大
全窒素	0.22	0.09～0.36
全磷	0.020	0.011～0.037

139 浜名湖 新居 Ⅱ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.21	0.10～0.38
全磷	0.023	0.011～0.048

132 浜名湖 湖口

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.21	0.10～0.59
全磷	0.026	0.011～0.083



137 浜名湖 気賀

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.47	0.22～1.4
全磷	0.031	0.015～0.098

136 浜名湖 白洲 Ⅲ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.82	0.32～1.9
全磷	0.045	0.018～0.13

140 浜名湖 雄踏 Ⅲ

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.47	0.17～1.5
全磷	0.036	0.017～0.13

131 浜名湖 塩田

項目	平均	最小～最大
全窒素	0.36	0.10～1.1
全磷	0.049	0.011～0.20

浜名湖 (イ)

A 地点（今切口の東導流堤の基部…浜松市西区舞阪町舞阪官有無番地）と B 地点（今切口の西導流堤の基部…湖西市新居町大字新居官有無番地）を結んだ直線、C 地点（湖西市鷺津字大畑ヶ 2499 番地の 9）と D 地点（浜松市西区村櫛町 4226 番地の 51）を結んだ直線、E 地点（浜松市西区村櫛町 5534 番地）と F 地点（浜松市西区舞阪町字十王 2697 番地の 1）を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

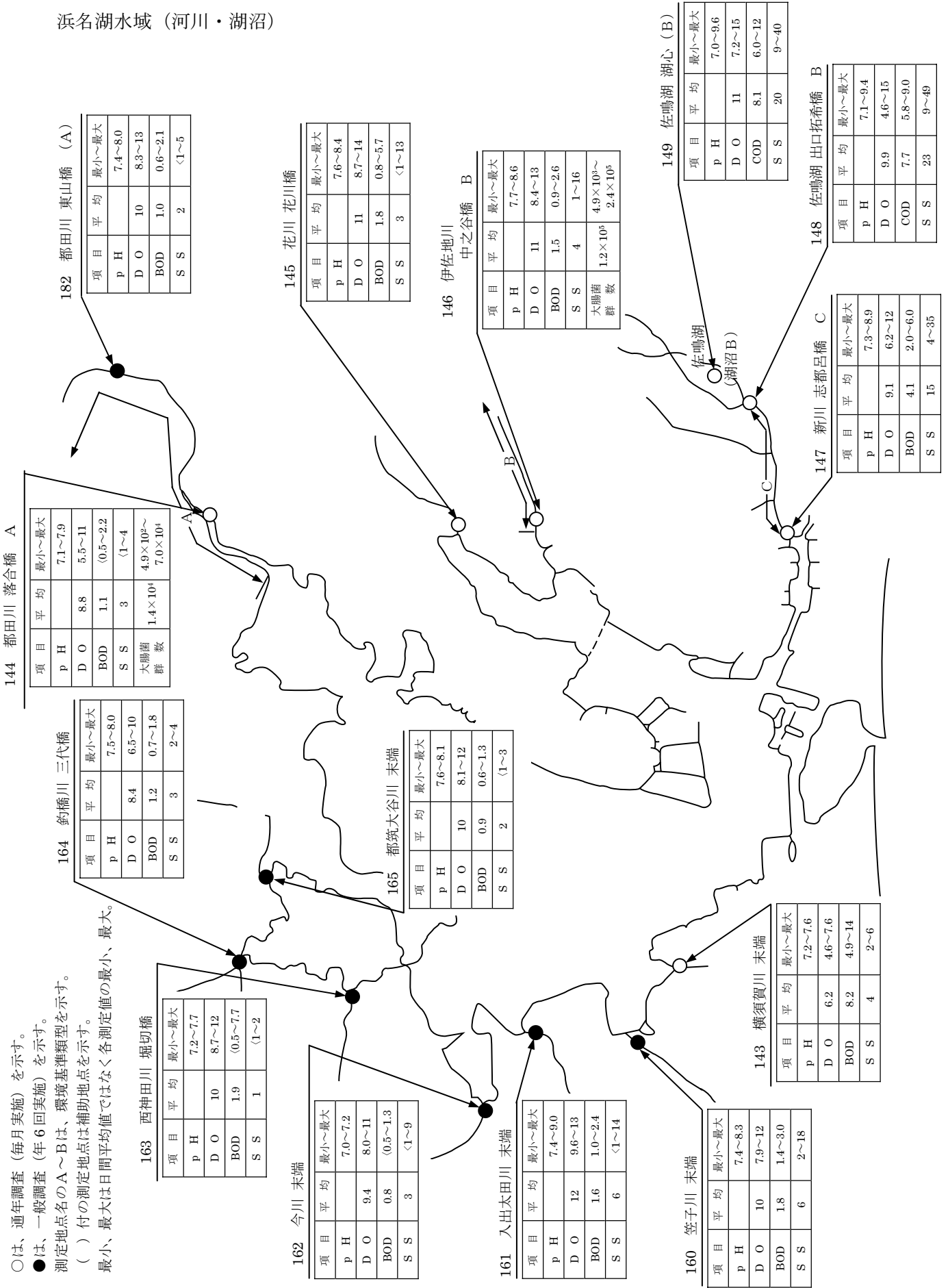
浜名湖 (ロ)

C 地点と D 地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

浜名湖 (ハ)

E 地点と F 地点を結んだ直線及び陸岸により囲まれた海域

浜名湖水域（河川・湖沼）



○は、通年調査（毎月実施）を示す。
 ●は、一般調査（年6回実施）を示す。
 測定地点名のA～Bは、環境基準類型を示す。
 () 付の測定地点は補助地点を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

144 都田川 落合橋 A

項目	平均	最小～最大
p H	8.8	7.1～7.9
D O	1.1	0.5～2.2
BOD	3	1～4
S S	1.4×10 ⁴	4.9×10 ³ ～7.0×10 ⁴
大腸菌群数		

164 釣橋川 三代橋

項目	平均	最小～最大
p H	8.4	7.5～8.0
D O	1.2	0.7～1.8
BOD	3	2～4
S S		

163 西神田川 堀切橋

項目	平均	最小～最大
p H	10	7.2～7.7
D O	1.9	0.5～7.7
BOD	1	1～2
S S		

162 今川 末端

項目	平均	最小～最大
p H	9.4	7.0～7.2
D O	0.8	8.0～11
BOD	3	0.5～1.3
S S		<1～9

165 都筑大谷川 末端

項目	平均	最小～最大
p H	10	7.6～8.1
D O	0.9	8.1～12
BOD	2	0.6～1.3
S S		<1～3

161 入出太田川 末端

項目	平均	最小～最大
p H	12	7.4～9.0
D O	1.6	9.6～13
BOD	6	1.0～2.4
S S		<1～14

160 笠子川 末端

項目	平均	最小～最大
p H	10	7.4～8.3
D O	1.8	7.9～12
BOD	6	1.4～3.0
S S		2～18

143 横須賀川 末端

項目	平均	最小～最大
p H	6.2	7.2～7.6
D O	8.2	4.6～7.6
BOD	4	4.9～14
S S		2～6

146 伊佐地川 中之谷橋 B

項目	平均	最小～最大
p H	11	7.7～8.6
D O	1.5	8.4～13
BOD	4	0.9～2.6
S S		1～16
大腸菌群数		4.9×10 ³ ～2.4×10 ⁵

145 花川 花川橋

項目	平均	最小～最大
p H	11	7.6～8.4
D O	1.8	8.7～14
BOD	3	0.8～5.7
S S		<1～13

182 都田川 東山橋 (A)

項目	平均	最小～最大
p H	10	7.4～8.0
D O	1.0	8.3～13
BOD	2	0.6～2.1
S S		<1～5

149 佐鳴湖 湖心 (B)

項目	平均	最小～最大
p H	8.1	7.0～9.6
D O	20	7.2～15
COD		6.0～12
S S		9～40

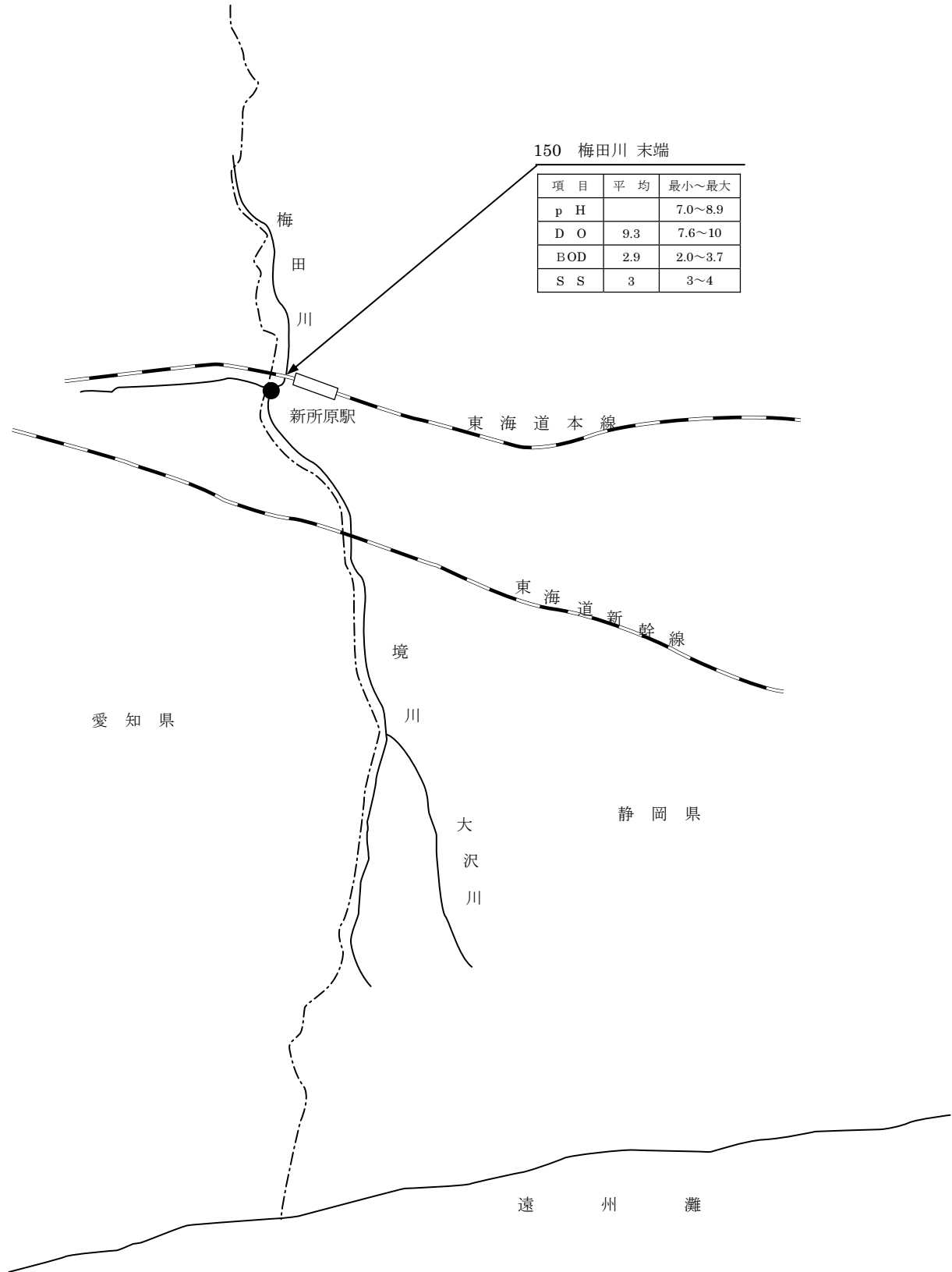
148 佐鳴湖 出口拓希橋 B

項目	平均	最小～最大
p H	7.7	7.1～9.4
D O	23	4.6～15
COD		5.8～9.0
S S		9～49

147 新川 志都呂橋 C

項目	平均	最小～最大
p H	9.1	7.3～8.9
D O	4.1	6.2～12
BOD	15	2.0～6.0
S S		4～35

(18) 梅田川水域 (河川)



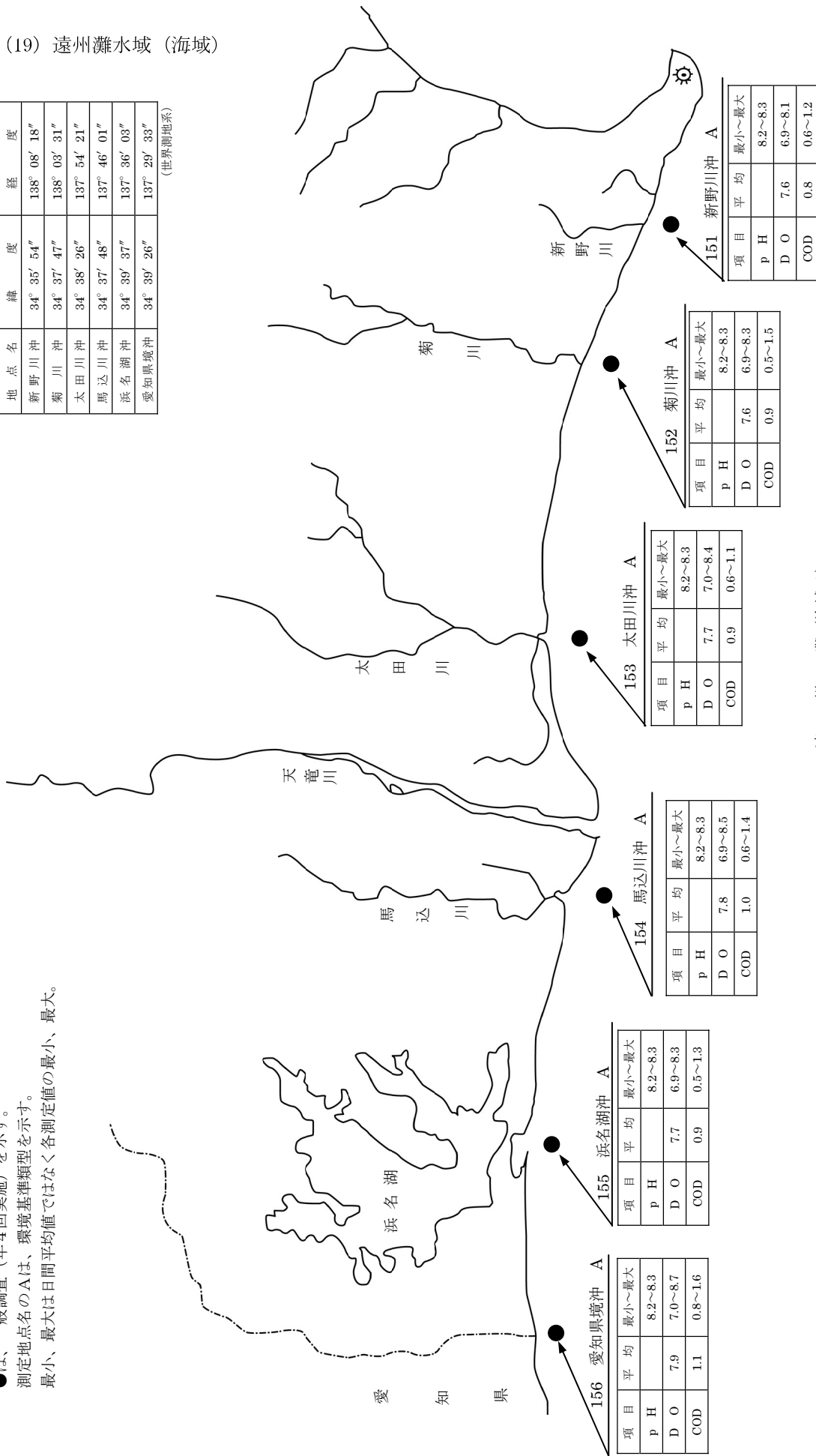
●は、一般調査（年4回実施）を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。

(19) 遠州灘水域 (海域)

地点名	緯度	経度
新野川沖	34° 35' 54"	138° 08' 18"
菊川沖	34° 37' 47"	138° 03' 31"
太田川沖	34° 38' 26"	137° 54' 21"
馬込川沖	34° 37' 48"	137° 46' 01"
浜名湖沖	34° 39' 37"	137° 36' 03"
愛知県境沖	34° 39' 26"	137° 29' 33"

(世界測地系)

●は、一般調査 (年4回実施) を示す。
 測定地点名のAは、環境基準類型を示す。
 最小、最大は日間平均値ではなく各測定値の最小、最大。



遠州灘 (海域A)

3 地下水の水質汚濁の状況

(1) 地下水の監視

県、国土交通省、水質汚濁防止法の政令市（静岡市、浜松市、沼津市、富士市）は、水質汚濁防止法第16条に規定する地下水の水質測定計画に基づき（表V-11）、環境モニタリング69地点（図V-2）及び定点モニタリング39地区128地点（図V-3）の計197地点において監視した。

なお、環境モニタリングでは、環境基準の項目のうちPCB及びアルキル水銀を除く26項目を測定し、定点モニタリングでは、これまでの測定で環境基準の未達成項目を測定した。

表V-11 平成24年度地下水質測定実績総括表 ()は県実施分

調査区分	採水 地点数	年間採水 延回数	検体数	調査担当機関
環境モニタリング (10kmメッシュ)	69 (36)	69 (36)	1,794 (936)	静岡県、国土交通省、静岡市、 浜松市、沼津市、富士市
定点モニタリング (39地区)	128 (66)	128 (66)	315 (96)	静岡県、静岡市、浜松市、 沼津市、富士市
計	197 (102)	197 (102)	2,109 (1,032)	

(注) 環境モニタリング：県下全域を10kmメッシュに分割し、メッシュ内の1地点で監視する。
 定点モニタリング：これまでに汚染が判明した地区への対応として定点で継続監視する。

(2) 環境基準

環境基準は表V-12のとおりである。

表V-12 地下水の水質汚濁に係る環境基準

項目	環境基準値 (mg/L)	報告下限値 (mg/L)
カドミウム	0.003以下	0.0003
全シアン	検出されないこと	0.1
鉛	0.01以下	0.005
六価クロム	0.05以下	0.02
砒素	0.01以下	0.005
総水銀	0.0005以下	0.0005
ジクロロメタン	0.02以下	0.002
四塩化炭素	0.002以下	0.0002
塩化ビニルモノマー	0.002以下	0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.004以下	0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0.1以下	0.01
1,2-ジクロロエチレン	0.04以下	0.004

項 目	環境基準値 (mg/L)	報告下限値 (mg/L)
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	0.0006
トリクロロエチレン	0.03以下	0.002
テトラクロロエチレン	0.01以下	0.0005
1,3-ジクロロプロペン	0.002以下	0.0002
チウラム	0.006以下	0.0006
シマジン	0.003以下	0.0003
チオベンカルブ	0.02以下	0.002
ベンゼン	0.01以下	0.001
セレン	0.01以下	0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.02
ふっ素	0.8以下	0.08
ほう素	1以下	0.1
1,4-ジオキサン	0.05以下	0.005

(注) PCB及びアルキル水銀は除く。

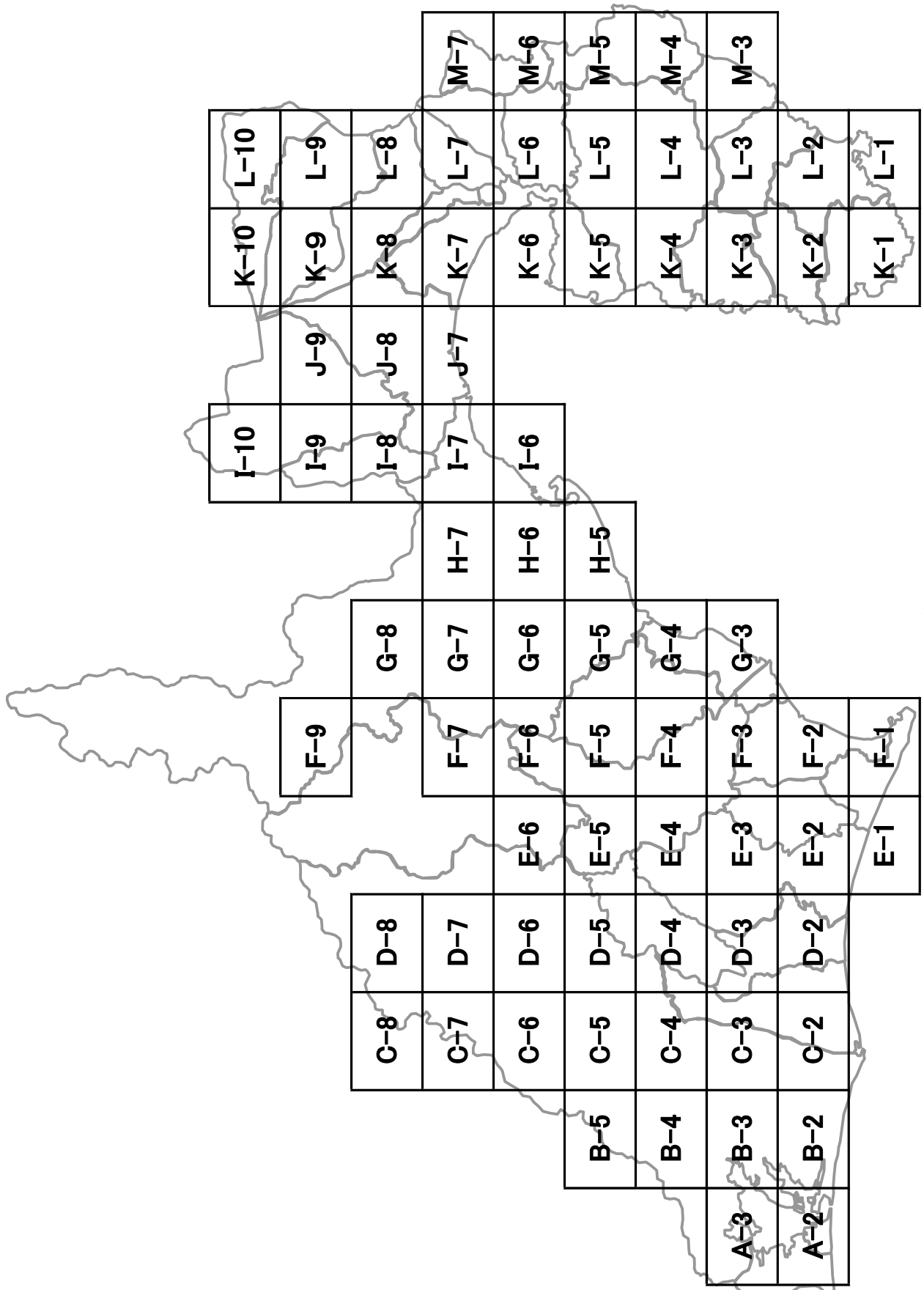
(3) 地下水の調査結果及び環境基準の達成状況

ア 環境モニタリング

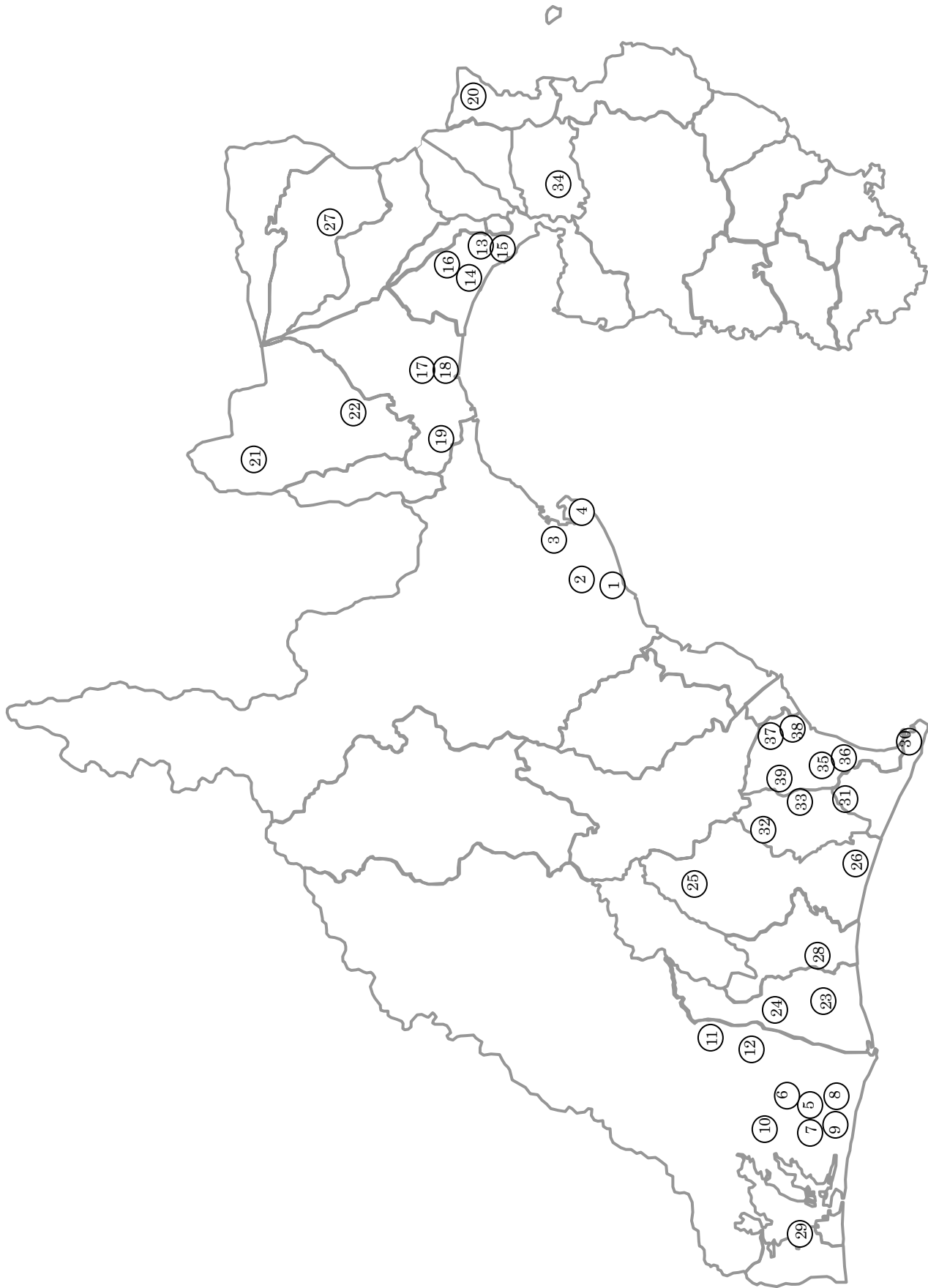
69 地点で実施した結果、沼津市下香貫宮脇 (L-6) で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が、環境基準を超過した (表V-13)。

イ 定点モニタリング

39 地区 128 地点で実施した結果、表V-14 のとおり、21 地区 26 地点で環境基準を達成せず、各項目における環境基準を達成しなかった地区数及び地点数は、表V-15 のとおりであった。また、解除の条件には至っていないが、24 年度の定点モニタリング調査実施 39 地区のうち環境基準を達成したのは 18 地区であった (表V-16)。



図V-2 環境モニタリング区域(10kmメッシュ) (注)マス中の記号-番号は表V-13における区域番号を表す。



図V-3 定点モニタリング地区 (注) 丸数字は、表V-14における地区番号を表す。

表V-13 平成24年度環境モニタリング調査の測定結果

網掛け部分は環境基準値を超過していることを示す。

表中の「-」は表V-12の報告下限値未満であることを示す。

区域番号	地点名	調査 担当 機関	井戸 区分	環境 基準 用途	調 査 項 目								
					カドミウム	全シアン	鉛	六価 クロム	砒素	総水 銀	ジクロロ メタン	四塩 化炭素	塩化ビ ニルモノマー
					0.003以下	検出されないこと	0.01以下	0.05以下	0.01以下	0.0005以下	0.02以下	0.002以下	0.002以下
A-3	浜松市北区三ヶ日町	浜松市	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-2	浜松市中区富塚町	浜松市	深	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-2	浜松市西区雄踏町	浜松市	深	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-3	浜松市北区三方原町	浜松市	浅	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-3	浜松市中区高丘東二丁目	浜松市	不明	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-4	浜松市北区引佐町井伊谷	浜松市	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-2	浜松市南区東町	国土交通省	深	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-2	磐田市見付	静岡県	不明	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-2	浜松市中区向宿二丁目	浜松市	深	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-3	磐田市上神増	静岡県	浅	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-3	浜松市浜北区沼	浜松市	深	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-3	浜松市浜北区小松	浜松市	深	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-4	浜松市天竜区青谷	浜松市	不明	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-6	浜松市天竜区龍山町瀬尻	浜松市	深	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C-7	浜松市天竜区佐久間町半場	浜松市	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D-2	袋井市豊沢	静岡県	深	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D-3	掛川市上垂木	静岡県	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E-1	御前崎市合戸	静岡県	深	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E-2	菊川市加茂	静岡県	浅	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E-3	掛川市大野	静岡県	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E-4	島田市神尾	静岡県	不明	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E-6	川根本町徳山	静岡県	浅	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F-2	牧之原市静波	静岡県	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F-3	島田市道悦島	静岡県	不明	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F-4	藤枝市宮原	静岡県	浅	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F-5	藤枝市瀬戸ノ谷	静岡県	浅	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G-3	焼津市一色	静岡県	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G-4	焼津市中里	静岡県	浅	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-

と 測 定 値													単位：mg/L			
1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4-ジメチル
0.004以下	0.1以下	0.04以下	1以下	0.006以下	0.03以下	0.01以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下	0.02以下	0.01以下	0.01以下	10以下	0.8以下	1以下	0.05以下
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.24	0.10	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.68	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.13	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.19	0.26	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.5	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	-
-	-	-	-	-	-	0.0006	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.08	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.31	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.59	0.08	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.86	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.40	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	6.6	0.11	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.22	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.82	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.59	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.90	-	-	-

区域番号	地点名	調査 担当 機関	井戸 区分	環境 基準 用途	調 査 項 目								
					カドミウム	全シアン	鉛	六価 クロム	砒素	総水 銀	ジクロロ メタン	四塩 化炭素	塩化ビ ニルモノマー
					0.003以下	検出されないこと	0.01以下	0.05以下	0.01以下	0.0005以下	0.02以下	0.002以下	0.002以下
G-5	静岡市葵区谷津	静岡市	浅	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G-5	静岡市葵区山崎一丁目	静岡市	浅	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G-7	静岡市葵区落合	静岡市	浅	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G-8	静岡市葵区渡	静岡市	浅	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H-5	静岡市葵区上足洗二丁目	静岡市	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H-5	静岡市駿河区中村町	静岡市	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H-5	静岡市駿河区中平松	静岡市	浅	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H-6	静岡市葵区有永	静岡市	不明	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H-6	静岡市清水区袖師町	静岡市	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I-7	静岡市清水区蒲原堰沢	静岡市	浅	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I-7	富士市中之郷	富士市	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I-8	富士宮市大中里	静岡県	浅	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I-9	富士宮市上井出	静岡県	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I-10	富士宮市根原	静岡県	深	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J-7	富士市松岡	富士市	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J-7	富士市横割	富士市	深	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J-8	富士市伝法	富士市	深	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
J-9	富士宮市栗倉	静岡県	浅	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K-1	南伊豆町二條	静岡県	浅	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K-2	松崎町小杉原	静岡県	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K-4	伊豆市小土肥	静岡県	浅	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K-5	沼津市戸田	沼津市	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K-7	沼津市井出	沼津市	浅	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K-7	沼津市平町	沼津市	浅	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K-7	沼津市原東沖	沼津市	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K-7	富士市船津	富士市	深	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
K-8	裾野市須山	静岡県	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-1	下田市須崎	静岡県	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-2	下田市箕作	静岡県	浅	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-3	河津町梨本	静岡県	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-4	伊豆市筏場	静岡県	浅	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-5	伊豆市熊坂	静岡県	浅	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-

と 測 定 値													単位：mg/L			
1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4-ジメチル
0.004以下	0.1以下	0.04以下	1以下	0.006以下	0.03以下	0.01以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下	0.02以下	0.01以下	0.01以下	10以下	0.8以下	1以下	0.05以下
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.70	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.30	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.30	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	0.10	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	0.09	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.12	0.16	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.85	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.13	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.07	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.97	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	0.09	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.74	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	0.1	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.31	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.13	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.15	0.09	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.46	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.82	-	-	-

区域番号	地点名	調査 担当 機関	井戸 区分	環境 基準 用途	調 査 項 目								
					カドミウム	全シアン	鉛	六価 クロム	砒素	総水 銀	ジクロロ メタン	四塩 化炭素	塩化ビ ニルモノマー
					0.003以下	検出されないこと	0.01以下	0.05以下	0.01以下	0.0005以下	0.02以下	0.002以下	0.002以下
L-6	伊豆の国市原木	静岡県	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-6	沼津市下香貫宮脇	沼津市	浅	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-7	三島市五輪	静岡県	深	一般飲用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-8	御殿場市神山	静岡県	深	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-9	小山町竹之下	静岡県	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M-4	伊東市八幡野	静岡県	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M-5	伊東市宇佐美	静岡県	深	水道水源	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M-6	熱海市上多賀	静岡県	深	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M-7	熱海市泉	静岡県	深	生活用	-	-	-	-	-	-	-	-	-

と 測 定 値													単位：mg/L			
1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサン
0.004以下	0.1以下	0.04以下	1以下	0.006以下	0.03以下	0.01以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下	0.02以下	0.01以下	0.01以下	10以下	0.8以下	1以下	0.05以下
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.21	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.22	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.19	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.36	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.64	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.08	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2	—	—	—

表V-15 定点モニタリング調査の環境基準未達成地区数及び地点数

項 目	地区数	地点数
全シアン	1	1
鉛	1	1
砒素	4	5
四塩化炭素	0	1
トリクロロエチレン	6	8
テトラクロロエチレン	3	4
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	2	2
ふっ素	0	1
1,2-ジクロロエチレン・トリクロロエチレン	1	2
トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン	1	1
四塩化炭素・トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン	1	0
1,2-ジクロロエチレン・トリクロロエチレン・ふっ素	1	0
計	21	26

表V-16 平成24年度定点モニタリング調査結果の環境基準達成期間の状況

基準達成期間	事例数	県モニタリング地区	政令市モニタリング地区
5年間以上	6地区	富士宮市北部(VOC) 15年 富士宮市小泉(VOC) 14年 牧之原市鬼女新田(窒素) 6年	浜松市寺脇(VOC) 10年 浜松市中瀬(VOC) 7年 浜松市高丘東(ノム) 5年
4年間	2地区	牧之原市静波(砒素) 牧之原市東萩間(窒素)	
2年間	3地区	牧之原市静波(VOC) 掛川市大和田(窒素)	静岡市七ツ新屋(VOC)
1年間	7地区	掛川市国安(砒素) 菊川市本所(VOC) 御前崎市白羽(窒素) 御前崎市上朝比奈(窒素) 菊川市牛渕・小沢・神尾(窒素)	浜松市曳馬(VOC) 沼津市大岡(VOC)
計	18地区		